Dell™ Inspiron™ 8500

オーナーズマニュアル

www.dell.com | support.jp.dell.com

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使用する上で知っておくと便利な情報が記載されています。

注意：ハードウェアの破損またはデータを損失する可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください（112 ページ参照）。

モデル PP02X

2003 年 8 月　P/N N2613　Rev. A00

目次

2　コンピュータのセットアップ

3　バッテリーとモジュールベイデバイスの使い方

4 キーボードとタッチパッドの使い方

5 CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方

6 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

7 問題の解決

8 部品の拡張および交換

9 付録

⚠ 警告：安全にお使いいただくために

コンピュータを安全にお使いいただくため、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、コンピュータと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

一般的な注意

- 訓練を受けたサービス技術者でない限り、ご自分でコンピュータの修理をなさらないでください。取り付けの手順には必ず厳密に従ってください。
- AC アダプタに延長電源ケーブルをつないで使用する場合、延長電源ケーブルに接続されている製品の定格電流の合計が延長ケーブルの定格電流を超えないことを確認してください。
- コンピュータの通気孔や開口部に物を入れないでください。コンピュータ内部でショートが起こり、火災の原因になったり、感電する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っている間は、キャリーケースやブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。
- 暖房器具や熱源の近くにコンピュータを置かないでください。また、冷却孔を塞がないようにしてください。コンピュータの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にコンピュータを置かないでください。
- AC アダプタをコンピュータの駆動またはバッテリーの充電に使用するときは、机の上や床の上など換気の良い所に AC アダプタを置いてください。冷却の妨げになるので、紙や他のものを AC アダプタにかぶせないでください。また、キャリーケースに入れたまま AC アダプタを使用しないでください。
- AC アダプタは通常のコンピュータの動作中でも熱くなることがあります。AC アダプタの使用中、または使用した直後は、取り扱いにご注意ください。
- ノートブックコンピュータは、底面が肌に直接触れる状態で長時間使用しないでください。通常の動作でも、底面に熱が蓄積される可能性があります（特に AC 電源を接続している場合）。肌に直接触れる状態で使用すると、不快に感じたり、やけどをする恐れがあります。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

- お風呂場や流し、プールの近く、または地下室などのような湿気の多い所でコンピュータを使用しないでください。
- お使いのコンピュータに内蔵またはオプション（PC カード）のモデムが搭載されている場合、電話線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、激しい雷雨時にはモデムケーブルを外してください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。すべてのケーブルを外して、バッテリー電源でコンピュータを駆動する場合を除き、雷雨時にはコンピュータを使用しないでください。
- コンピュータにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で、FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- コンピュータの底面にあるメモリモジュール / ミニ PCI カード / モデムカバーを開く前に、すべてのケーブルをコンセントから抜き、モデムケーブルを抜いてください。
- お使いのコンピュータにモデム用 RJ-11 コネクタとネットワーク用 RJ-45 コネクタの両方がある場合、2 つのコネクタは似ているので、モデムケーブルを RJ-45 コネクタではなく、RJ-11 コネクタに差し込んでいることを確認してください。
- PC カードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後に PC カードを取り外す際は、ご注意ください。
- コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータのプラグをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

電源

- このコンピュータでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こす恐れがあります。
- コンピュータをコンセントに接続する前に AC アダプタの定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- コンピュータをすべての電源から取り外すには、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントから外してから、バッテリーパックを取り外してください。
- 感電を防ぐため、AC アダプタおよびデバイスの電源ケーブルは、正しい方法でアースされているコンセントに差し込んでください。これらの電源ケーブルには、アース接続用に三芯プラグが使用されていることがあります。アダプタプラグを使用したり、アース用の芯を電源ケーブルのプラグから取り外さないでください。延長電源ケーブルを使用する場合、二芯または三芯の適切な種類を使用して、AC アダプタ電源ケーブルに接続してください。
- AC アダプタの電源ケーブルの上に物を置かないでください。引っかかったり踏まれる可能性のある所にケーブルを置かないでください。
- 複数の差し込み口のある電源タップを使用している場合、AC アダプタの電源ケーブルを電源タップに差し込む際は注意してください。電源タップの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または発火の危険があるだけでなく、コンピュータに永続的な損傷を与える恐れがあります。電源プラグのアース芯が、電源タップのアース接続端子に差し込まれていることを確認してください。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

バッテリー

- このコンピュータでの使用を認められた Dell™ バッテリーモジュールのみを使用してください。別の種類を使用すると、発火または爆発の危険性が増す場合があります。
- 車の鍵、クリップなどの金属製品でバッテリーの端子がショートする恐れがあるので、バッテリーパックをポケット、ハンドバッグ、またはその他の入れ物に入れて持ち歩かないでください。ショートすると過度の電流が流れて高温が発生し、バッテリーパックの損傷、または発火ややけどをする恐れがあります。
- バッテリーを正しく取り扱わないと、やけどをする恐れがあります。バッテリーを分解しないでください。破損または液漏れしているバッテリーパックは、十分注意して取り扱ってください。バッテリーが破損している場合、電池から電解液が漏れていることがあり、けがをする恐れがあります。
- バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- コンピュータまたはバッテリーパックを、ラジエータ、暖炉、ストーブ、電気ヒーター、またはその他の発熱する電気機器等の熱源の側に保管したり、放置したり、あるいは気温が 60 ℃ を超える場所に置かないでください。過度の高温になると、バッテリー電池が破裂したり、穴が開いたり、発火する恐れがあります。
- コンピュータのバッテリーを焼却したり、家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。バッテリーが破裂する恐れがあります。使用済みバッテリーの廃棄に関しては、19 ページの「バッテリーの廃棄」を参照してください。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

航空機の利用

- 飛行機内では、Dell コンピュータを使用する際に連邦航空局の一定の規制および航空会社固有の制限が適用されることがあります。たとえば、そうした規制や制限により、無線周波数またはその他の電磁信号を意図的に送信する機能のある PED（個人用電子機器）の機内での使用が禁止されている場合があります。
  - こうした制限のすべてに適切に従うため、お使いの Dell ノートブックコンピュータに Dell TrueMobile™ またはその他の無線通信デバイスが搭載されている場合、飛行機に搭乗する前にこれらのデバイスを無効にし、航空会社職員からのそのデバイスに関するすべての指示に従ってください。
  - さらに、離着陸など飛行中の特定の重要な段階においては、ノートブックコンピュータなどの PED の使用が禁止されている場合があります。航空会社によっては、重要な飛行段階として飛行機の高度が 3,050 m（10,000 ft）以下の時と具体的に定義していることがあります。PED を使用できる時期については、航空会社の指示に従ってください。

EMC 指令

シールド付き信号ケーブルの使用により、目的の環境に適用される EMC（電磁的両立性）分類基準を満たすことができます。

静電気は、コンピュータ内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータの I/O パネルの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

コンピュータを使うには

コンピュータへの損傷を防ぐため、次の注意事項を守ってください。

- コンピュータは平らな所でお使いください。
- コンピュータを出張などに持って行く場合、荷物として預けないでください。X 線探知機にコンピュータを通してもかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。係官がコンピュータを検査する場合、コンピュータの電源を入れるように指示することがありますので、充電済みのバッテリーパックをご用意ください。
- コンピュータからハードドライブを取り外して持ち歩く場合、布や紙など絶縁体のものでドライブを包んでください。係官がドライブを検査する際に、ドライブをコンピュータに取り付けてください。X 線探知機にハードドライブを通してもかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。
- コンピュータを出張などに持って行く場合、中で激しく動く可能性がありますので、乗り物の頭上の荷物入れにコンピュータを入れないでください。コンピュータを落としたり、衝撃を与えないでください。
- 泥、ほこり、食べ物、液体、高温、長時間の直射日光などにコンピュータやバッテリー、ハードドライブをさらさないでください。
- 温度や湿度が極端に異なる環境にコンピュータを移動すると、コンピュータ表面や内部に結露が発生することがあります。コンピュータへの損傷を防ぐため、湿気がなくなるまで時間をおいてからコンピュータをお使いください。

注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合、しばらく室温に慣らしてからコンピュータの電源を入れてください。

- ケーブルを抜くときは、ケーブル自体ではなくコネクタやストレインリリーフループを持って抜いてください。コネクタを引き抜くときは、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐ引いてください。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐ向き合っていることを確認してください。
- 部品は丁寧に取り扱ってください。メモリモジュールなどはピンを持たずに、縁を持ってください。

コンピュータを使うには（続き）

- システム基板への損傷を防ぐため、システム基板からメモリモジュールを取り外したり、コンピュータからデバイスを取り外す場合、コンピュータの電源を切り、バッテリーベイまたはモジュールベイからバッテリーを取り外して、AC アダプタケーブルを外し、5 秒ほど待ってからおこなってください。
- ディスプレイは、柔らかい清潔な布と水でクリーニングしてください。水を布に浸し、ディスプレイの上から下へ一方向に布で拭いてください。ディスプレイから湿気をすばやく取り除いて、乾燥させます。長時間湿気にさらすとディスプレイを損傷する恐れがあります。市販の窓用クリーナーを使って、ディスプレイをクリーニングしないでください。
- コンピュータが濡れたり、損傷を受けた場合、120 ページに記載されている手順に従ってください。指示に従った後でもコンピュータが正常に動作しない場合は、デルにお問い合わせください（適切なお問い合わせ情報については、163 ページを参照）。

快適な使い方

⚠ **警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**

⚠ **警告：ディスプレイまたは外付けモニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。**

コンピュータを快適に、効率よく使用するため、コンピュータの設置と使用に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルの注意事項に従ってください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

このノートブックコンピュータは、事務機器としての継続的作業用には設計されておりません。長時間会社で使用する場合は、外付けキーボードの接続を奨励しています。

コンピュータを使うには（続き）

コンピュータ内部の作業をする場合

メモリモジュール、ミニ PCI カード、またはモデムを取り外したり取り付ける前に、以下の手順を指示された順番通りにおこなってください。

注意：メモリモジュール、ミニ PCI カード、またはモデムを取り付ける場合以外は、コンピュータの内部の作業をおこなわないでください。

注意：システム基板への損傷を防ぐため、デバイスの取り外しやメモリモジュール、ミニ PCI カード、またはモデムの取り外しは、コンピュータの電源を切り、5 秒ほど待ってからおこなってください。

1 コンピュータをシャットダウンして、取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ります。

2 けがまたは感電を防ぐため、コンピュータおよびデバイスをコンセントから取り外します。また、電話回線や通信回線のケーブルもコンピュータから外します。

3 メインバッテリーをバッテリーベイから取り外し、必要に応じて、セカンドバッテリーをモジュールベイから取り外します。

4 コンピュータ背面にある塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がします。

   作業中は定期的に I/O パネルに触れて、静電気による内部コンポーネントの損傷を防止してください。

静電気障害への対処

静電気は、コンピュータ内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータの I/O パネルにある塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

コンピュータ内部での作業を続ける間も定期的に I/O コネクタに触れて、身体内に蓄積した静電気を逃がしてください。

コンピュータを使うには（続き）

さらに、ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順を実行することをお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止梱包材を開梱する直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品を持ち運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

バッテリーの廃棄

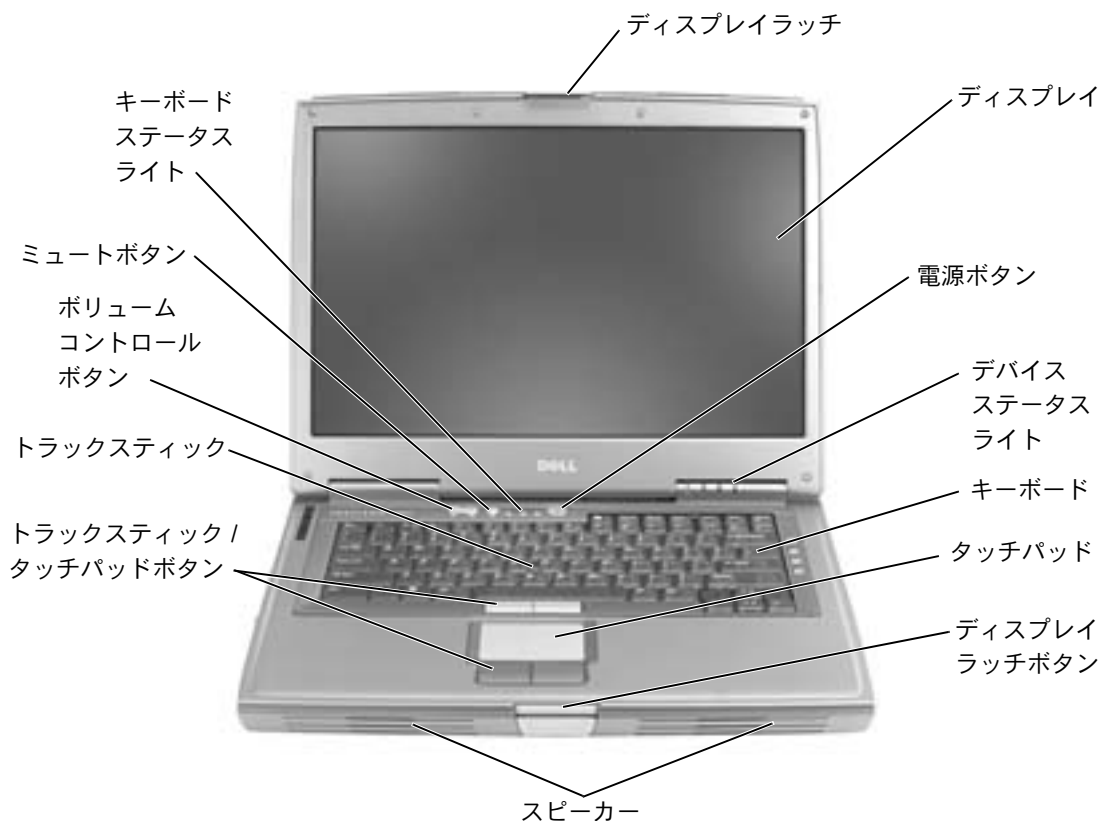
お使いのコンピュータには、リチウムイオンバッテリーと予備バッテリーが使用されています。お使いのコンピュータでリチウムイオンバッテリーを取り替える手順については、お使いの Dell コンピュータのマニュアルに記載されている、バッテリーの交換の項目を参照してください。予備バッテリーは、寿命が大変に長いので、取り替える必要がないと思われます。ただし、交換しなければならない場合は、58 ページを参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 ：044-556-3481）へお問い合わせください。

1

第 1 章

コンピュータの各部

コンピュータの正面

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておきます。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れるか、または省電力モードを起動したり、終了します。

トラックスティック — トラックスティックおよびトラックスティックボタンは、マウスと同じ機能を提供します。

トラックスティック / タッチパッドボタン — トラックスティックおよびタッチパッドボタンは、マウスと同じ機能を提供します。

注意：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切るときは、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® のシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

デバイスステータスライト

⏻	コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。
⛁	コンピュータがデータを読み取ったり、データの書き込みをしている際に点灯します。 **注意**：データの損失を防ぐため、⛁ のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
🔋	バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。消灯している場合、コンピュータにバッテリーが搭載されていない可能性があります。
✱	Bluetooth™ が有効な場合、点灯します。 **メモ**：Bluetooth は、オプション機能です。Bluetooth をコンピュータと一緒にご購入された場合にのみ ✱ のライトがオンになります。詳細については、Bluetooth テクノロジに付属のマニュアルを参照してください。 Bluetooth の機能だけを停止するには、システムトレイの ✱ のアイコンを右クリックして、**ラジオの無効化** を選択します。 すべてのワイヤレスデバイスをすばやく有効または無効にするには、 <Fn><F2> を押します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、🔋 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了

コンピュータをバッテリーで駆動している場合、🔋 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されている（または、コンピュータの電源が切れている）
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下している
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下している

キーボード — キーボードには、テンキーパッドと Microsoft® Windows® ロゴキー [Windows] が含まれています。サポートされているキーボードショートカットについては、72 ページを参照してください。

タッチパッド — タッチパッドおよびタッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。詳細については、76 ページを参照してください。

ディスプレイラッチボタン — このボタンを押してディスプレイラッチを取り外し、ディスプレイを開きます。

スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、ボリュームコントロールボタンまたは音量調節のキーボードショートカットを押します。詳細については、74 ページを参照してください。

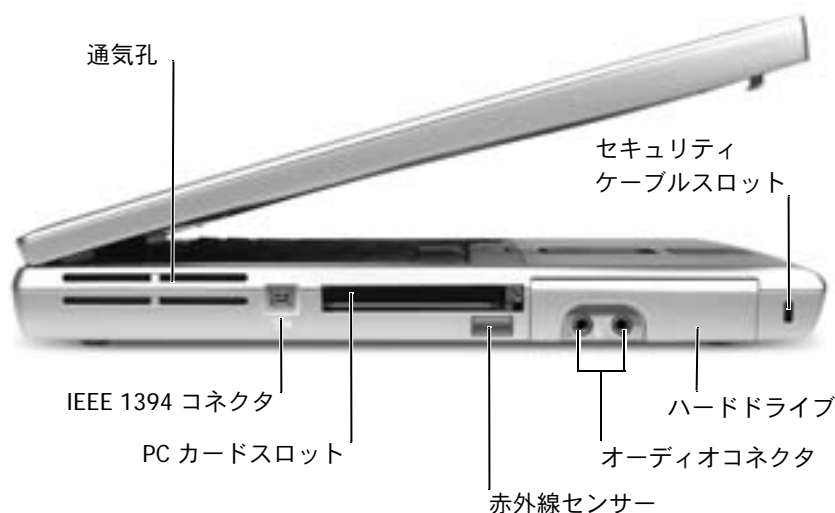
ボリュームコントロールボタン — ボタンを押して、音量を調節します。

ミュートボタン — ボタンを押して、音を消します。

キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

🔒9	テンキーパッドが有効になると点灯します。
🔒A	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
🔒↓	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

コンピュータの左側面

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これによって、コンピュータが過熱することを防ぎます。

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

メモ：コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンのノイズは一般的な現象で、ファンやコンピュータの異常ではありません。

IEEE 1394 コネクタ（4 ピン）— このコネクタを使って、デジタルビデオカメラなど、高速なデータ転送速度を持つ IEEE 1394 対応のデバイスをコンピュータに接続します。

PC カードスロット — モデムやネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。お使いのコンピュータには、スロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

赤外線センサー — ケーブルで接続せずにコンピュータから他の赤外線互換デバイスへファイルを転送することができます。

コンピュータがお手元に届いたときは、赤外線センサーは無効になっています。セットアップユーティリティを使って、センサーを有効にします（162 ページ参照）。データ転送の詳細については、Windows ヘルプとサポートセンター（112 ページ参照）、または赤外線互換デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

オーディオコネクタ

のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。
のコネクタにはマイクを接続します。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：盗難防止用品をご購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

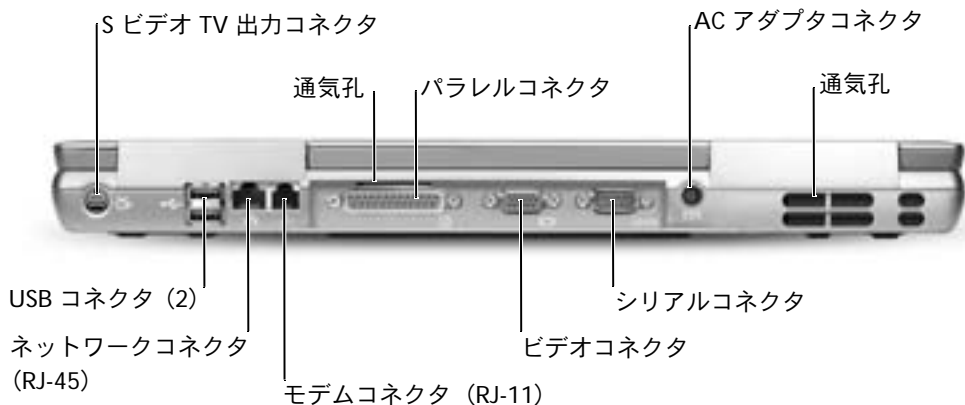
コンピュータの右側面

セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

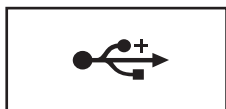
注意：盗難防止用品をご購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

モジュールベイ — オプティカルドライブや Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

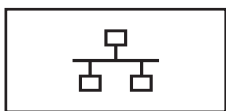
デバイスリリースラッチ — デバイスを取り外せるようにします。詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

コンピュータの背面

S ビデオ TV 出力コネクタ

コンピュータをテレビに接続します。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応のデバイスを接続することもできます。詳細については、87 ページを参照してください。

USB コネクタ（2）

マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスを接続します。オプションのフロッピードライブケーブルを使って、次の図に示すように、オプションのフロッピードライブを直接 USB コネクタに接続することもできます。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

注意：ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。

コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある緑色と黄色のライトは、ワイヤ / ワイヤレスネットワーク通信の活動を示します。

ネットワークアダプタの使い方については、コンピュータに付属しているオンラインのネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

モデムコネクタ（RJ-11）

内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方については、コンピュータに付属しているオンラインのモデムのマニュアルを参照してください。

パラレルコネクタ

プリンタなどのパラレルデバイスを接続します。

ビデオコネクタ

外付けモニターを接続します。詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

シリアルコネクタ

マウスまたはハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源が入っていても、入っていなくても、コンピュータに接続できます。

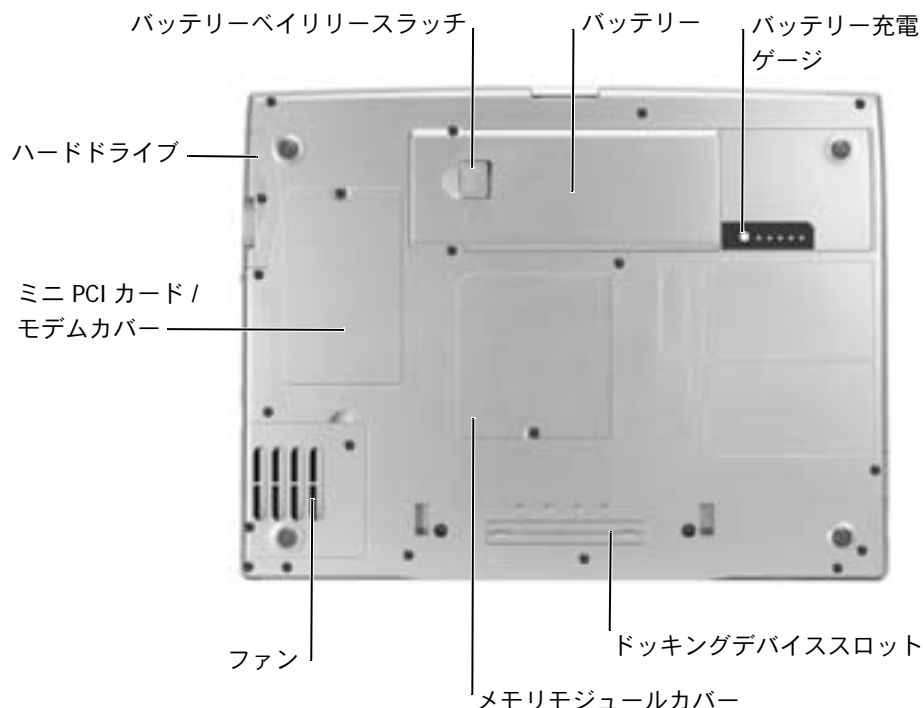
警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続すると、火災の原因になったり、装置に損傷を与える恐れがあります。

注意：ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから取り外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っぱらないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これによって、コンピュータが過熱することを防ぎます。

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

メモ：コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンのノイズは一般的な現象で、ファンやコンピュータの異常ではありません。

コンピュータの底面

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

ミニ PCI カードおよびモデムカバー — オプションのモデムおよびオプションのミニ PCI カードを収容するコンパートメントのカバーです。141 ページを参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを取り外せるようにします。56 ページを参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。56 ページを参照してください。

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。54 ページを参照してください。

メモリモジュールカバー — メモリモジュールを収容するコンパートメントのカバーです。136 ページを参照してください。

ドッキングデバイススロット — お使いのコンピュータにドッキングデバイスを取り付けます。詳細については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

ファン — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようにします。これによって、コンピュータが過熱することを防ぎます。

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入らないようにしてください。コンピュータが稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与える恐れがあります。

メモ：コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンのノイズは一般的な現象で、ファンやコンピュータの異常ではありません。

2

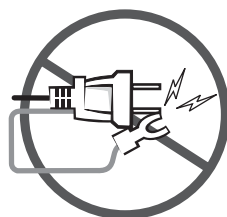
第 2 章

コンピュータのセットアップ

AC アダプタの接続

1 AC アダプタをコンピュータの AC アダプタコネクタに接続します。

警告：AC アダプタ電源コードは、お使いの Dell ノートブックコンピュータでのみ使用されることをお勧めします。

警告： 緑色のアース線をコンセントに接続する場合、絶対に緑色のアース線と電源プラグの先端部とを接触させないでください。感電、発火、またはコンピュータが損傷する恐れがあります（次の図を参照）。

2 緑色のアース線をコンセントに接続しない場合、手順 6 に進みます。

警告：緑色のアース線を電源コードに固定している 2 本のナイロン製のひもを取り除く際に、アース線または AC アダプタ電源コードを切らないでください。

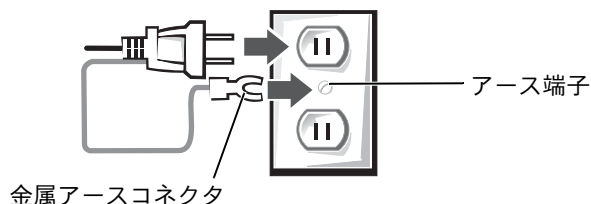
3 緑色のアース線を AC アダプタ電源コードに固定している 2 本のナイロン製のひもを取り除きます。

4 金属アースコネクタからカバーを取り外します。

ノートブックコンピュータを持ち運ぶ場合は、後で使用する時のためにカバーを保管しておきます。

5 金属アースコネクタをコンセントのアース端子に接続します（次の図を参照）。

   a アース端子のネジを緩めます。

   b 金属アースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入して、アース端子のネジを締めます。

6 AC アダプタ電源コードをコンセントに接続します。

インターネットへの接続

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、以下のインターネット接続オプションを 1 つまたは複数提供します。

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- ケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび電話ジャックに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順については、ご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには …

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Microsoft® Windows® デスクトップにある **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。

3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

   新しい接続ウィザード が表示されます。

3 **インターネットに接続する** をクリックします。

4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。

   - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する** をクリックします。
   - ご利用の ISP からセットアップ情報を入手済みで、セットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
   - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

   接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の指示に従ってセットアップを完了します。

6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックしてから、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

メモ：どの種類の接続を選んだらいいか解らない場合は、ご利用の ISP にお問い合わせください。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態についてご利用の ISP に確認するか、後で再度接続してみます。

モデムおよびインターネットへの接続の問題

注意：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムの故障原因となります。

注意：モデムおよびネットワークコネクタは同じように見えます。電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。

電話ジャックを確認します — 電話線をモデムから取り外し、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。プッシュホンサービスを受けていることを確認します。モデムを別の電話ジャックに接続してみます。

電話回線やネットワーク状況などによって生じる電話機のノイズのため、接続速度が遅くなる場合があります。詳細については、電話会社またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

モデムを直接電話ジャックに接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど、同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話線を使ってモデムを直接電話ジャックに接続してみます。

接続を確認します — 電話線がモデムに接続されているか確認します。

電話線を確認します — 他の電話線を使用してみます。3 メートル以内の電話線を使用します。

聞きなれないダイヤル音 — ボイスメールサービスを受けている場合、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音がすることがあります。ダイヤル音を元に戻す手順については、電話会社にお問い合わせください。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調節します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**電話とモデムのオプション** をクリックして、**ダイヤル情報** タブをクリックしてから、**編集** をクリックします。
3 **所在地の編集** ウィンドウで、**キャッチホン機能を解除するための番号** にチェックマークが付いていることを確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
4 **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。
5 **電話とモデムのオプション** ウィンドウを閉じます。
6 **コントロールパネル** ウィンドウを閉じます。

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
3 **モデム** タブをクリックします。
4 モデムの COM ポートをクリックします。
5 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムに問題はありません。

メモ：ISP（インターネットサービスプロバイダ）に接続できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能しているのに、問題が解決できない場合は、ご利用の ISP にお問い合わせください。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元の（古い）コンピュータから新しいコンピュータに転送する **ファイルと設定の転送ウィザード** があります。以下のデータが転送できます。

- E メール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワーク接続またはシリアル接続を介してデータを新しいコンピュータに転送したり、書き込み可能な CD、またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存できます。

新しいコンピュータにファイルを転送するには …

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5 **今、古いコンピュータに行ってください。** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。この時に、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには …

1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2 **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3 **実行する操作の選択** 画面で、**ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
6 **転送方法を選択してください。** 画面で、希望の転送方法をクリックします。

7 **何を転送しますか ？** 画面で、転送するアイテムをクリックして、**次へ** をクリックします。

 情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています** 画面が表示されます。

8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには …

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください。** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選んで、**次へ** をクリックします。

 ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

 設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の転送ウィザードの完了** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

プリンタのセットアップ

注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙、およびトナーまたはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元へ連絡してテクニカルサポートを受ける

プリンタケーブル

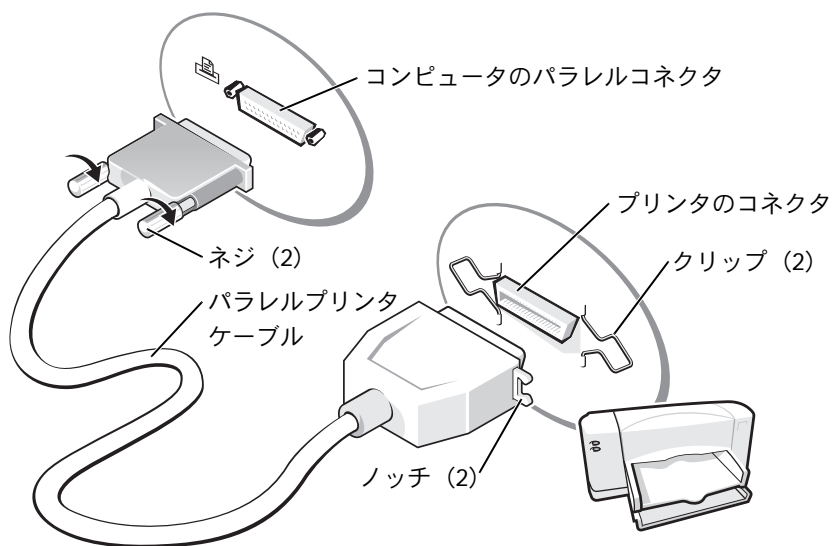
USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属していない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

パラレルプリンタを接続する

1 オペレーティングシステムをセットアップしていない場合、セットアップを完了します。

2 コンピュータの電源を切ります（49 ページ参照）。

注意：長さ 3 メートル以下のパラレルケーブルが最適です。

3 パラレルプリンタケーブルをコンピュータのパラレルコネクタに取り付け、2 つのネジをしっかりと締めます。ケーブルをプリンタのコネクタに接続して、2 つのクリップをノッチにはめます。

4 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。

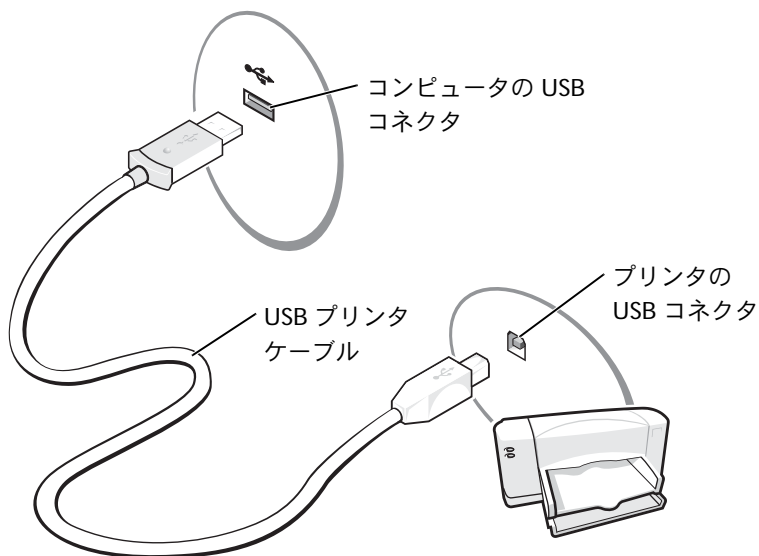
5 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

USB プリンタを接続する

メモ：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態のときでも、接続することができます。

1 オペレーティングシステムをセットアップしていない場合、セットアップを完了します。

2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。 プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

3 USB プリンタケーブルを、コンピュータとプリンタの USB コネクタに差し込みます。USB コネクタは一方向にしか差し込めません。

プリンタの問題

プリンタケーブルの接続を確認します — プリンタケーブルがコンピュータに正しく接続されているか確認します（45 ページ参照)。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。

プリンタの電源が入っているか確認します — プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

WINDOWS® がプリンタを認識しているか確認します

1 **スタート** ボタンをクリックします。
2 **コントロールパネル** をクリックします。
3 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
4 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
5 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。
6 **印刷するポート** を **LPT1: プリンタポート** に設定します。

プリンタドライバを再インストールします — 123 ページを参照してください。

ネットワーク接続のためのドッキングデバイスのセットアップ

注意：ドッキングデバイスのセットアップが完了するまでは、ネットワークアダプタまたはネットワークアダプタ / モデムコンビネーション PC カードを取り付けないでください。

注意：オペレーティングシステムに重大な問題が発生しないよう、コンピュータが Windows オペレーティングシステムのセットアップを完了するまでは、コンピュータにドッキングデバイスを接続しないでください。

ドッキングデバイスを使って、お使いのノートブックコンピュータをより完全にデスクトップ環境に導入することができます。

ドッキングデバイスのセットアップ手順および詳細については、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

メモ：ネットワークアダプタは NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- UPS（無停電電源装置）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクト機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。通常、保護レベルはサージプロテクタの価格と見合ったものになります。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。高いジュール定格ほどデバイスをより保護できます。他の装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意：ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意：すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、ネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから外してください。

ラインコンディショナ

注意：ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

UPS（無停電電源装置）

注意：データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷する恐れがあります。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

メモ：バッテリーの最大駆動時間を確認するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクトの付いた別の電源タップに接続します。

コンピュータの電源を切る

注意：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、以下で説明する Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
2. **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

   シャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。

メモ：コンピュータの電源を切る代わりに、スタンバイモードまたは休止状態モードを起動するように設定することができます。

3

第 3 章

バッテリーとモジュールベイデバイスの使い方

バッテリーの使い方

電源の問題

モジュールベイについて

セカンドバッテリーの充電チェック

コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け

コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

バッテリーの使い方

バッテリーの性能

メモ：ノートブックコンピュータ用のバッテリーは、コンピュータの保証期間の最初の 1 年間に限り保証されます（181 ページ参照）。

コンピュータをコンセントに接続しなくても、バッテリーを使ってコンピュータに電力を供給できます。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

バッテリーの駆動時間は、使用状況によって異なります。平均的な使用方法の場合、完全に充電されているバッテリー 1 つで 3 ～ 4 時間の操作ができます。オプションのセカンドバッテリーをモジュールベイに取り付けると、駆動時間を大幅に長くすることができます。セカンドバッテリーの詳細については、61 ページを参照してください。

メモ：お使いのコンピュータにあるモジュールベイは、セカンドバッテリーをサポートしています。Dell D/Bay は、セカンドバッテリーをサポートしていません。

次のような場合、バッテリーの駆動時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

メモ：CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

- オプティカルドライブ、特に DVD ドライブおよび CD-RW ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用している場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合

コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。

警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、Dell™ コンピュータ専用です。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告：バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。使用済みのバッテリーの廃棄に関しては、19 ページを参照してください。

警告：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、あるいは気温が 65 ℃ を超える場所に置かないでください。バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特にご注意ください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり、装置を損傷させる恐れがあります。

メモ：グラフィックカードの **最小電力** オプションの設定でバッテリーの寿命を節約することができます。詳細については、グラフィックカードに付属のマニュアルを参照してください。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリーメーター、Microsoft® Windows® 電源メーターウィンドウと アイコン、バッテリー充電ケージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

セカンドバッテリーの充電チェックについては、61 ページを参照してください。

Dell QuickSet バッテリーメーター

Fn F3 を押して、QuickSet **バッテリメーター** を表示します 。

バッテリメーター 画面は、お使いのコンピュータのプライマリバッテリーおよびセカンドバッテリーの現在の状況、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

また、コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、**バッテリメーター** 画面には、充電レベルおよびドッキングデバイスバッテリーの現在の状況を表示する **バッテリのドッキング** タブが含まれます。

メモ：CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

バッテリメーター 画面では、以下のアイコンが表示されます。

	• コンピュータまたはドッキングデバイスが、バッテリー電源で動作している • バッテリーが放電中またはアイドル状態
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーの充電中
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーが挿入されていない、放電中、アイドル状態、または充電中

QuickSet の詳細については、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターをチェックするには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。**電源メーター** タブの詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合は、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーを挿入する前に、バッテリー充電ゲージにあるステータスボタンを押して、充電レベルインジケータライトを点灯させせます。各ライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % であれば 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

機能ゲージ

バッテリーの駆動時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーは充電機能またはバッテリー機能を失います。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリーの駆動時間の詳細については、155 ページを参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意：データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続するか、またはモジュールベイにセカンドバッテリーを取り付けます。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリーの約 90 % を消費した時点で発せられます。コンピュータから 1 回ビープ音が発せられたら、バッテリーの駆動時間が最低限になったことを示しています。その間、スピーカーは定期的にビープ音を鳴らします。バッテリーを 2 つ取り付けている場合、バッテリーの低下を知らせる警告は、両方のバッテリーを合わせた充電残量が 90 % 消費していることを意味します。バッテリーの残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。バッテリーの低下を知らせる警告の詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

バッテリーの充電

メモ：完全に切れてしまったバッテリーを AC アダプタで充電するには、コンピュータの電源が切れている状態で約 1 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合、充電時間は長くなります。バッテリーはコンピュータに取り付けたままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路が過剰充電を防ぎます。

コンピュータをコンセントに接続していたり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。その後、コンピュータをコンセントに接続して、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決については、60 ページを参照してください。

バッテリーの取り外し

セカンドバッテリーの取り外しについては、61 ページを参照してください。

警告：次の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、コンピュータをコンセントから抜いてから、モデムを電話ジャックから抜いてください。

注意：コンピュータがスタンバイモードの状態でバッテリーを交換する場合、90 秒以内に交換を完了してください。90 秒経つと、コンピュータがシャットダウンし、保存していないデータはすべて失われます。

1 コンピュータの電源が切れているか、省電力モードのサスペンドモードに入っているか、またはコンセントに接続されているかを確認します。

2 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

3 コンピュータの底面にあるバッテリーベイ（またはモジュールベイ）リリースラッチをスライドしたまま、バッテリーをベイから取り外します。

バッテリーの取り付け

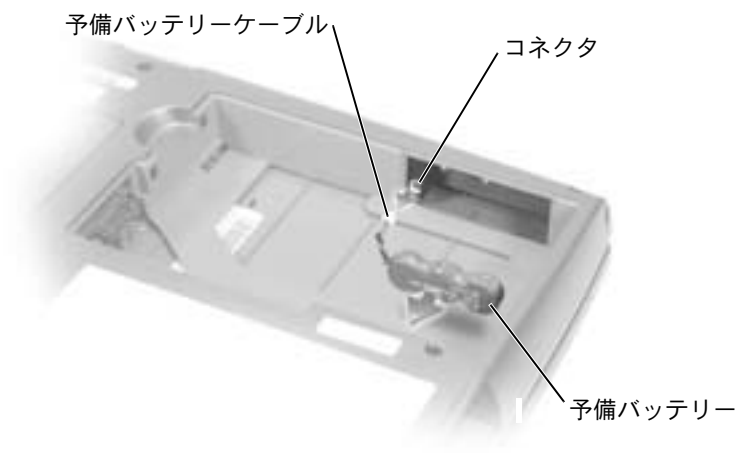
リリースラッチがカチッと収まるまで、バッテリーをベイに挿入します。

セカンドバッテリーの取り付けについては、61 ページを参照してください。

予備バッテリーの取り外しと取り付け

1 バッテリーを取り外します（56 ページ参照）。

2 予備バッテリーカバーを取り外します。

3 予備バッテリーをコンパートメントから引き出して、予備バッテリーケーブルをコネクタから外します。

4 予備バッテリーケーブルを予備バッテリーのコンパートメントのコネクタに接続します。

5 予備バッテリーをコンパートメントの中に置き、予備バッテリーカバーを取り付けます。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合、バッテリーを取り外してください。バッテリーを長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになるときは、完全にバッテリーを再充電してください。

電源の問題

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。電源ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーの温度を確認します — バッテリーの温度が 0° C 以下の場合、コンピュータは起動しません。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1 バッテリーを取り付けなおします。

2 AC アダプタを使用して、コンピュータをコンセントに接続します。

3 コンピュータの電源を入れます。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合、バッテリーの充電が不足しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に交互に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて充電できません。コンピュータの電源を切り （49 ページ参照）、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーに欠陥がある可能性があります。デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯していることを確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

電源オプションのプロパティを調整します — 『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、ヘルプとサポートセンターで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

メモリモジュールを取り付けなおします — コンピュータの電源ライトが点灯していて、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします （136 ページ参照）。

モジュールベイについて

フロッピードライブ、CD ドライブ、CD-RW ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW / DVD ドライブ、DVD+RW、Dell TravelLite™ モジュール、セカンドバッテリー、またはセカンドハードドライブなどのデバイスをモジュールベイに取り付けることができます。

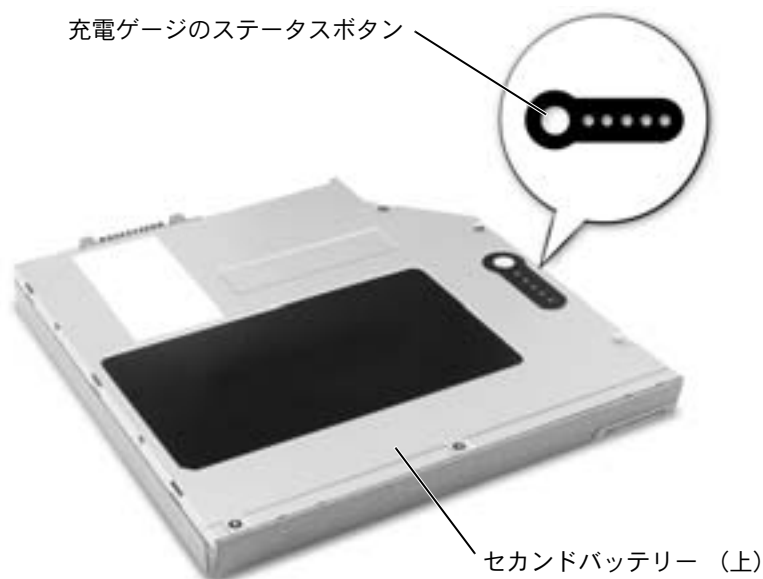
お使いの Dell™ コンピュータには出荷時に、モジュールベイにオプティカルドライブが取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ：モジュールベイには、D シリーズのモジュールのみ使用できます。

メモ：モジュールベイに取り付けているすべてのデバイス（セカンドバッテリーを除く）は、Dell D/Bay に取り付けることもできます。

セカンドバッテリーの充電チェック

セカンドバッテリーを取り付ける前に、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを押して充電レベルインジケータライトを点灯させます。各ライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % であれば 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

メモ：セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

コンピュータの電源が切れている場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ：デバイスネジが取り付けられていない場合、コンピュータが動作していて、ドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている間でも、デバイスを取り外したり、取り付けることができます。

メモ：セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

お使いのコンピュータには出荷時に、モジュールベイにオプティカルドライブが取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

デバイスネジが取り付けられていない場合

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上からカを加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1 デバイスリリースラッチを押します。

2 デバイスをモジュールベイから引き出します。

3 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッと収まるまでデバイスを押し込みます。

デバイスネジが取り付けられている場合

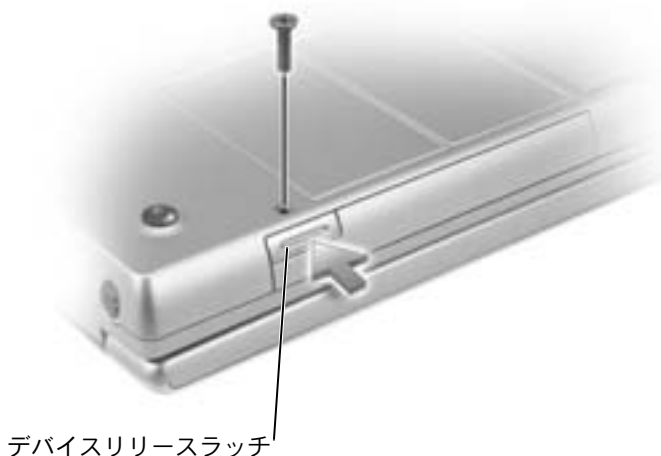
1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。

2 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3 ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。

4 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

5 デバイスリリースラッチを押します。

デバイスリリースラッチ

6 デバイスをモジュールベイから引き出します。

注意：デバイスをモジュールベイに取り付けてから、コンピュータをドッキングデバイスに接続したり、コンピュータの電源を入れます。

7 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッと収まるまでデバイスを押し込みます。

8 デバイスネジを取り付けます。

9 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ：デバイスネジが取り付けられていない場合、コンピュータが動作していて、ドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている間でも、デバイスを取り外したり、取り付けることができます。

メモ：セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

お使いのコンピュータには出荷時に、モジュールベイにオプティカルドライブが取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

デバイスネジが取り付けられていない場合

1 タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。

2 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3 デバイスリリースラッチを押します。

4 デバイスをモジュールベイから引き出します。

5 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッと収まるまでデバイスを押し込みます。

Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

6 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

デバイスネジが取り付けられている場合

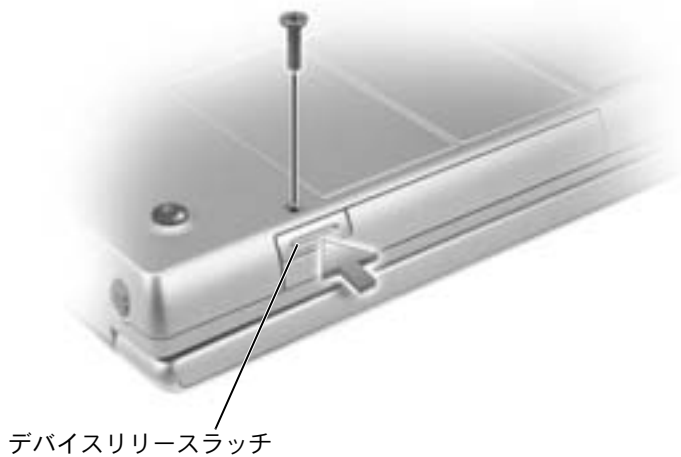
1 タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。

2 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。

3 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管します。上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

4 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

5 デバイスリリースラッチを押します。

6 デバイスをモジュールベイから引き出します。

7 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッと収まるまでデバイスを押し込み、ネジを取り付けます。

Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

8 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

4

第 4 章

キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド

キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、

Fn を押して、ご希望のキーを押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。

キーボードショートカット

システム機能

Ctrl Shift Esc Suspend	**タスクマネージャ** ウィンドウが開きます。
Num Lk Scroll Lk	テンキーパッドを有効または無効にします。
Fn Num Lk Scroll Lk	Scroll Lock 機能を有効または無効にします。

バッテリー

Fn F3	Dell™ QuickSet バッテリーメーターを表示します。

CD または DVD トレイ

Fn F10	この機能を使用するには、Dell QuickSet が必要です。トレイをドライブから取り出します。

ディスプレイ関連

Fn F8 CRT/LCD	画面モードの次の順に切り替えます — 内蔵ディスプレイのみ、内蔵ディスプレイと外付け CRT モニターの同時表示、外付け CRT モニターのみ、内蔵ディスプレイと外付け DVI モニターの同時表示、外付け DVI モニターのみ、および外付け CRT モニターと外付け DVI モニターの同時表示。
Fn ↑☼	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
Fn ↓☼	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth™ を含む）

Fn F2	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth を含む無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

	選択した省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブでキーボードショートカットを設定できます。

スピーカー関連

スピーカーから何も聞こえない場合、Fn End を押してボリュームを調節します。

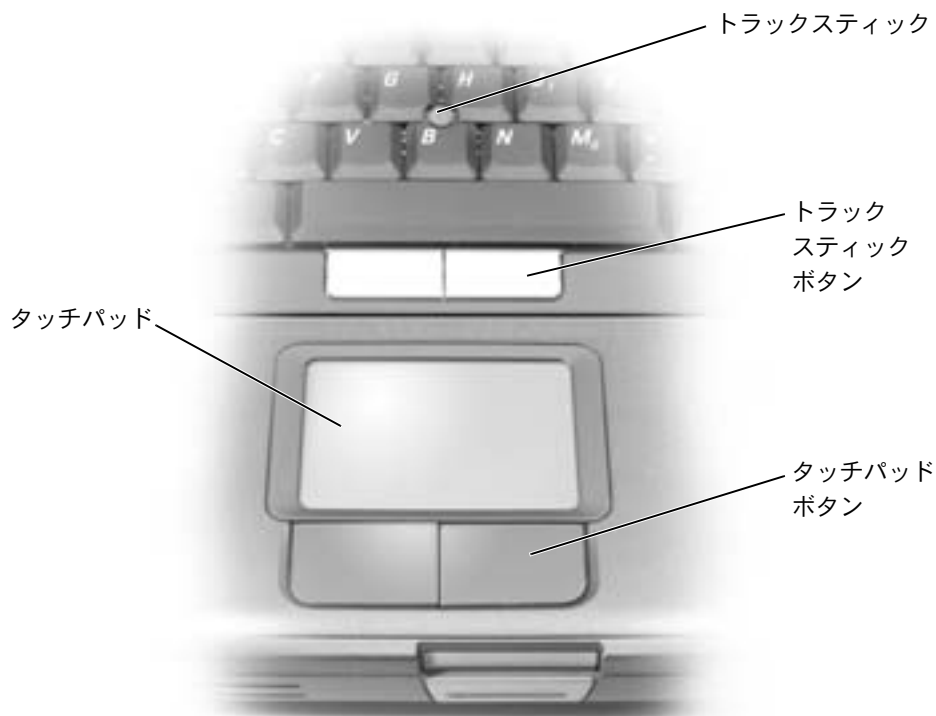
Fn Page Up	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
Fn Page Dn	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
Fn End	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

キー	動作
Windows + M	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows + Shift + M	すべてのウィンドウを最大化します。
Windows + E	Windows エクスプローラが開きます。
Windows + R	**ファイル名を指定して実行** ダイアログボックスが開きます。
Windows + F	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows + Ctrl + F	**検索結果 ー コンピュータ** ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows + Pause Break	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、**スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。次に、**プリンタとその他のハードウェア** クリックして、**キーボード** をクリックします。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面上のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

- カーソルを動かすには、タッチパッド上をそっと指でスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。

- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり設定を調整することができます。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。次に **マウス** をクリックします。
2. **マウスのプロパティ** ウィンドウでは、以下の設定ができます。
   - **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドを無効にします。
   - **ポインタ** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調整します。
3. 希望の設定を選択して、**適用** をクリックします。
4. **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

2 **マウス** をクリックします。

3 設定を変更します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します

1 コンピュータをシャットダウンします （49 ページ参照）。

2 マウスを外します。

3 コンピュータの電源を入れます。

4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを移動し、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスに欠陥がある可能性があります。

タッチパッドドライバを再インストールします — 123 ページを参照してください。

外付けキーボードの問題

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。キーボードケーブルを外して、損傷していないか確認します。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します

1 コンピュータの電源を切り、1 分待ってから再度コンピュータの電源を入れます。

2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。

3 Windows® デスクトップから **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。

4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認できない場合、外付けキーボードに欠陥がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します

1 コンピュータの電源を切ります。

2 外付けキーボードを取り外します。

3 コンピュータの電源を入れます。

4 Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。

5 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されて、外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに欠陥がある可能性があります。デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

入力時の問題

メモ：外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、Num Lk Scroll Lk を押してテンキーパッドを無効にします。Num Lock のライトが点灯していないことを確認します。

5

第 5 章

CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方

CD および DVD の使い方

お使いのコンピュータの CD および DVD の使用方法については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

CD または DVD の問題

CD、CD-RW、または DVD を再生できない場合

メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

高速 CD ドライブの振動は異常ではなく、通常、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズは、ドライブや CD の異常ではありません。

CD ドライブトレイの回転軸に CD がきちんとはまっていることを確認します

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — Windows XP の場合、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。その他のオペレーティングシステムの場合、**マイコンピュータ** をダブルクリックします。ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。 のライトが点滅し、通常の動作を示していることを確認します。

別のディスクを試します — 元のディスクに問題のないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

再生しないディスクを確認します — 固定ドライブデバイスおよびモジュールベイデバイスに、CD、CD-RW、または DVD が一枚ずつ入っている場合、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。

2 確認するデバイスのドライブ文字をダブルクリックします。

ドライブを取り付けなおします

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

2 モジュールベイにドライブが取り付けられている場合、ドライブを取り外します。手順については、61 ページを参照してください。

ドライブが固定ドライブの場合、118 ページの 「ドライブのエラーを確認します」を参照してください。

3 ドライブを取り付けなおします。

4 コンピュータの電源を入れます。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — クリーニングの手順については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

ドライブのエラーを確認します — ドライブが固定ドライブの場合、次の手順を実行します。

1 ハードドライブおよびフロッピードライブを取り外します。

2 お使いのコンピュータ用の『Drivers and Utilities CD』を挿入して、コンピュータの電源を入れます。

3 のライトが点滅し、通常の動作を示していることを確認します。

CD、CD-RW、または DVD ドライブトレイが取り出せない場合

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にある取り出し穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。

3 トレイが止まるまで慎重に引き出します。

聞きなれない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

CD-RW ドライブに書き込みができない場合

CD-RW への書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします — Windows ヘルプで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

実行中のその他すべてのプログラムを閉じます — CD-RW に書き込む前に、実行中のその他すべてのプログラムを閉じることで、問題を回避できる場合があります。

サウンドとスピーカーの問題

内蔵スピーカーに問題がある場合

WINDOWS® で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを解消するため、音量、低音、または高音の調節をします。

キーボードボタンを使用して音量を調節します — キーボードボタンを使用して、音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします — 123 ページを参照してください。

外付けスピーカーに問題がある場合

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。

スピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを解消するため、音量、低音、または高音の調節をします。

スピーカーを確認します — スピーカーのオーディオケーブルをコンピュータのライン出力コネクタに接続します。ヘッドフォンの音量が上げてあることを確認して、音楽 CD を再生します。

スピーカーのセルフテストを実行します — スピーカーによっては、セルフテストボタンがサブウーハーにあります。セルフテストの手順については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします — 123 ページを参照してください。

メモ：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

CD および DVD をコピーする

この項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD / CD-RW コンボドライブが搭載されているコンピュータのみに適用されます。

メモ：CD および DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。Sonic RecordNow を使用して、コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成することもできます。手順については、コンピュータに付属している Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開いて、ウィンドウの右上角にある疑問符（?）アイコンをクリックして、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピー方法

1 **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** → **RecordNow!** とポイントします。

2 コピーする CD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブをクリックします。

3 **バックアップ** をクリックします。

メモ：DVD / CD-RW コンボドライブをお持ちで、記録中に問題が発生する場合、Sonic サポートウェブサイト **sonicjapan.co.jp** にアクセスして、利用できるソフトウェアパッチがあるか確認してください。

メモ：市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

4 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。

- CD または DVD ドライブが 1 つある場合、設定が正しいか確認して、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにコピーします。

  プロンプトで、空の CD または DVD を CD または DVD ドライブに挿入して、**OK** をクリックします。

- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を挿入したドライブを選びます。コンピュータは、CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが完了すると、CD または DVD トレイが自動的に開きます。

空の CD-R または空の CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW ディスクという二種類の異なった記録メディアに書き込みをおこないます。空の CD-R は、音楽の保存やデータファイルを恒久的に保存するのに使用します。CD-R を作成したら、記録方法を変えない限りそのディスクに書き込むことはできません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートをおこなうのに使用します。

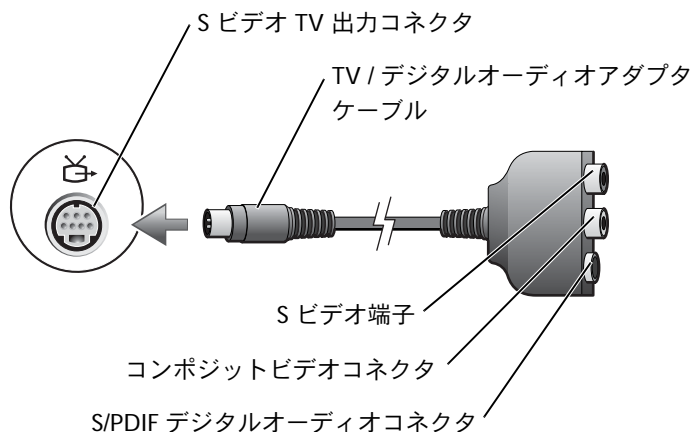
役に立つヒント

- Sonic RecordNow を起動し、RecordNow プロジェクトを開いてから、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にファイルをドラッグ＆ドロップしてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を焼くには、CD-R ディスクを使用する必要があります。CD-RW ディスクはほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic RecordNow を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。

- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW に最大容量を焼かないでください。たとえば、650 MB の空の CD に 650 MB のファイルをコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 または 2 MB を必要とします。
- CD への記録方法に慣れるまでは、空の CD-RW ディスクを使って CD への記録を練習してください。間違えた場合でも、CD-RW であれば消去して再度やりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに恒久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Sonic サポートウェブサイト **sonicjapan.co.jp** に、役に立つヒントが他にもありますので、参照してください。

テレビとコンピュータを接続する

お使いのコンピュータには S ビデオ TV 出力コネクタがあり、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルが付属しています。これらを使ってテレビやステレオオーディオデバイスとコンピュータを接続できます。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルには、S ビデオ、コンポジットビデオ、および S/PDIF デジタルオーディオ用のコネクタがあります。

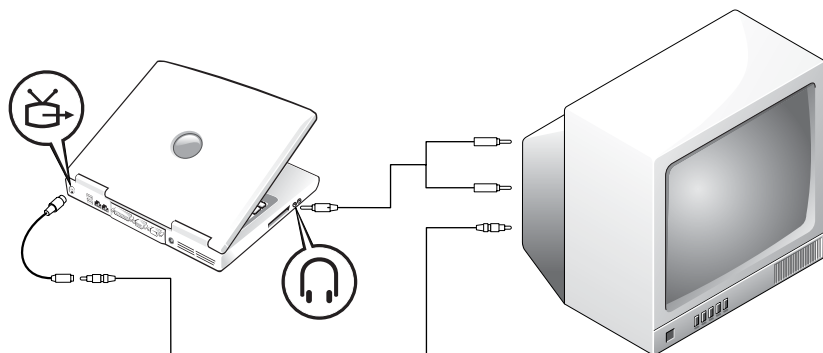
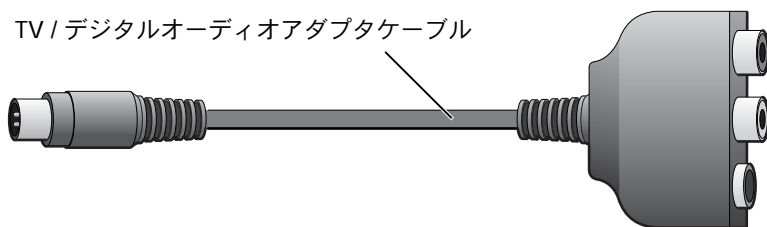
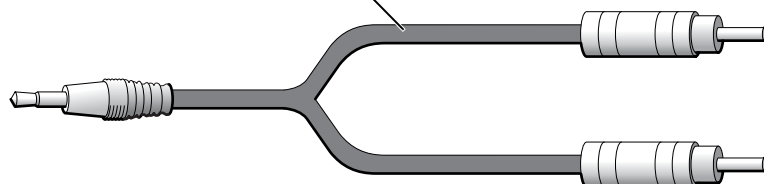
メモ：コンピュータをテレビに接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータに付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店でお買い求めください。

S/PDIF デジタルオーディオに対応していないテレビやオーディオデバイスには、コンピュータ側面にあるオーディオコネクタを使って、テレビまたはオーディオデバイスにコンピュータを接続します。

以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ：各項目の冒頭部分に接続の組み合わせ図がありますので、どの方法をお使いになるかを決める参考にしてください。

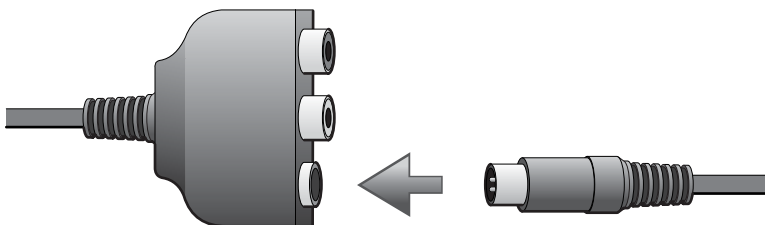
- S ビデオおよび標準オーディオ
- S ビデオおよびデジタルオーディオ
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ
- コンポジットビデオおよびデジタルオーディオ

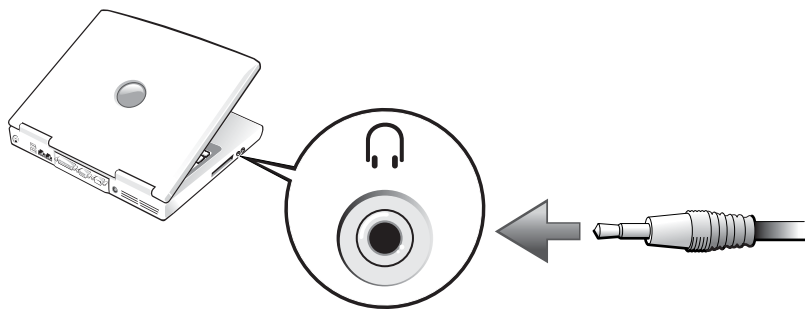
ケーブル接続が完了したら、97 ページを参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。また、S/PDIF デジタルオーディオをお使いの場合は、98 ページを参照してください。

S ビデオおよび標準オーディオ

作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

メモ：お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接コンピュータの S ビデオ端子に（ビデオアダプタケーブルを使用しないで）接続できます。

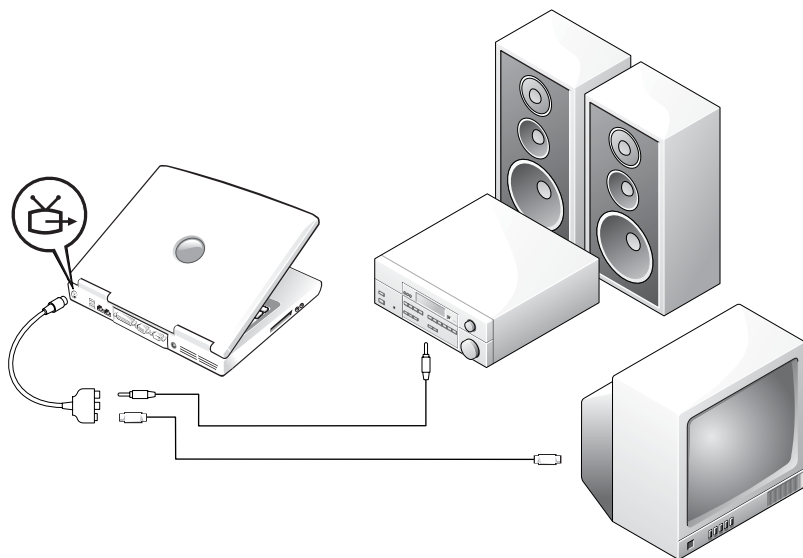
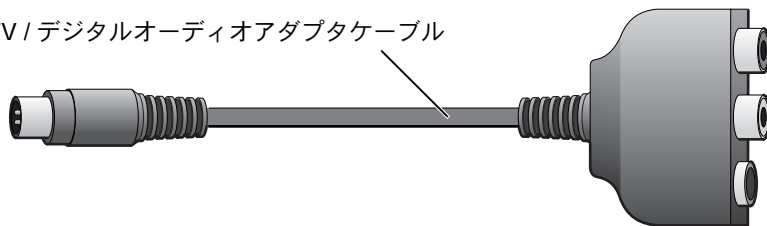
2 TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3 S ビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ端子に差し込みます。

4 S ビデオケーブルのもう片方の端をテレビに差し込みます。

5 コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

6 もう片方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

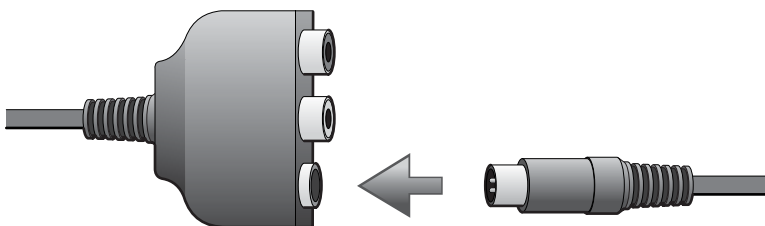
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイスの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

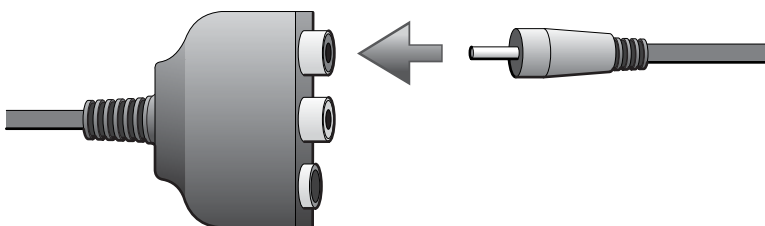
8 97 ページを参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

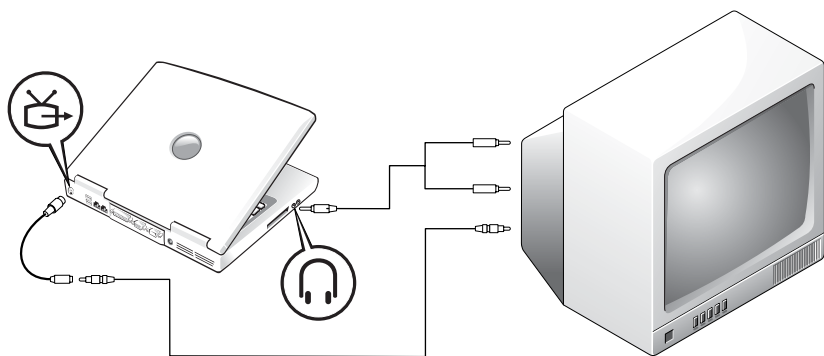
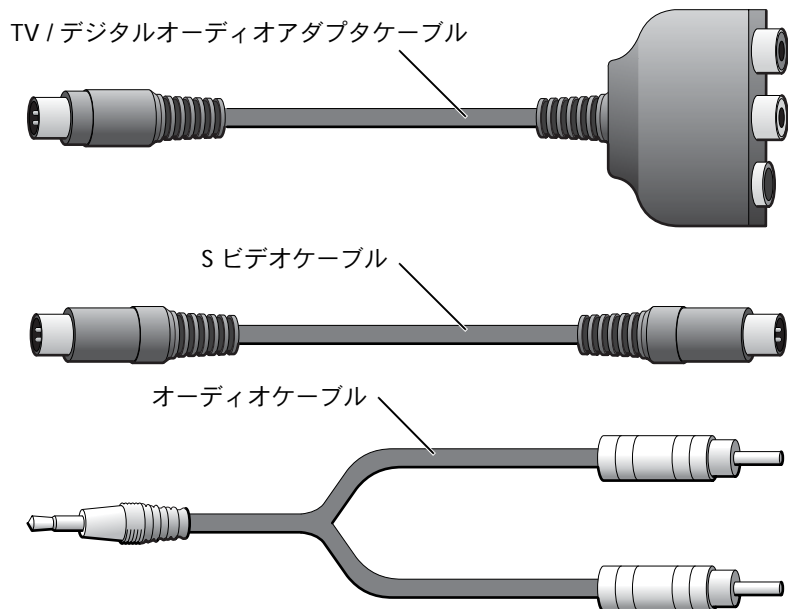
S ビデオおよびデジタルオーディオ

作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

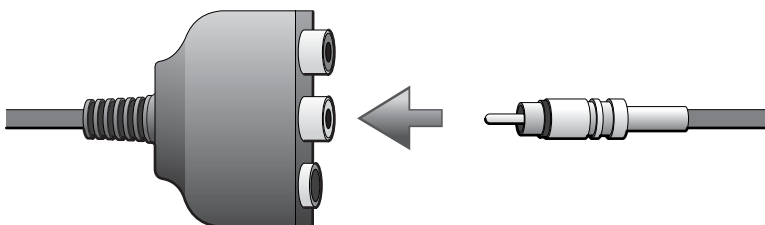
2 TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

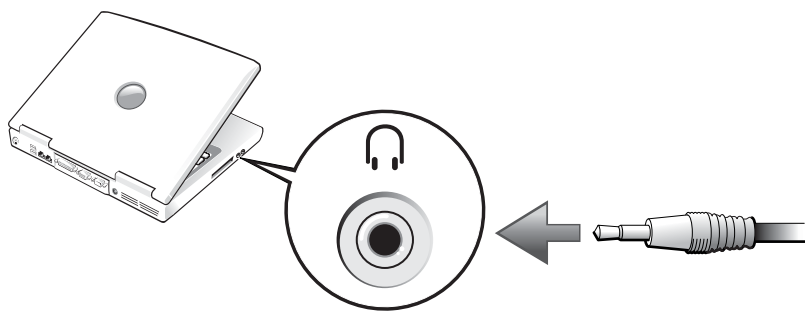
3 S ビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ端子に差し込みます。

4 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ端子に差し込みます。

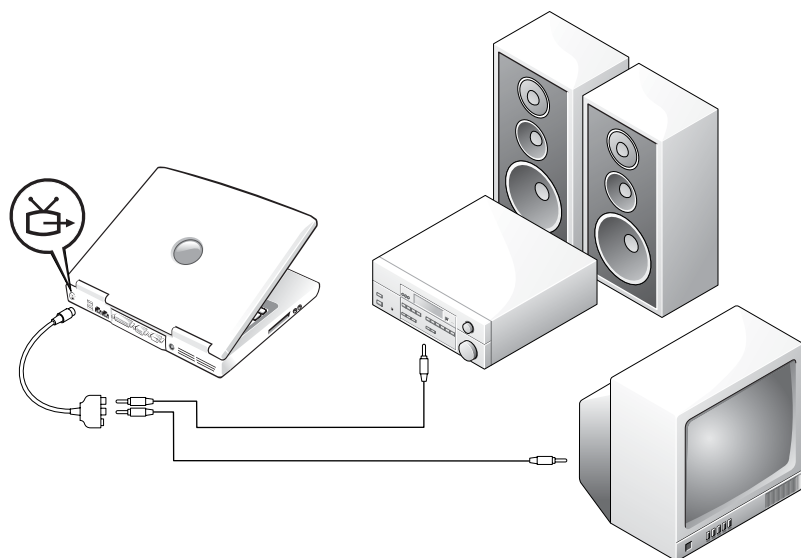
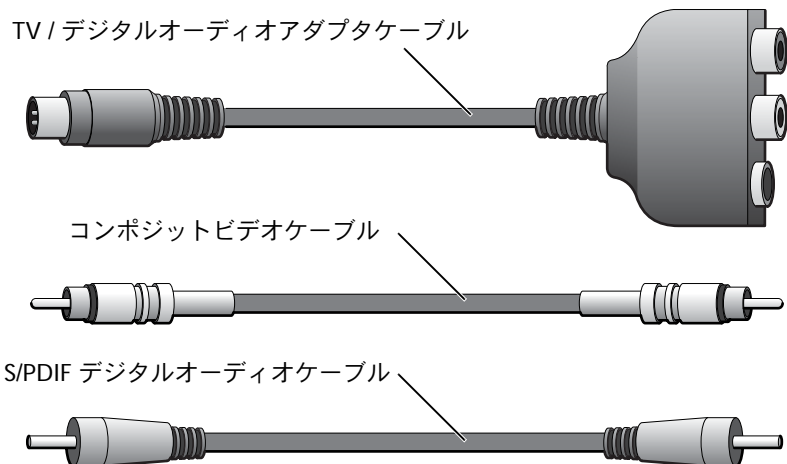
5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。

6 S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ

作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2 TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

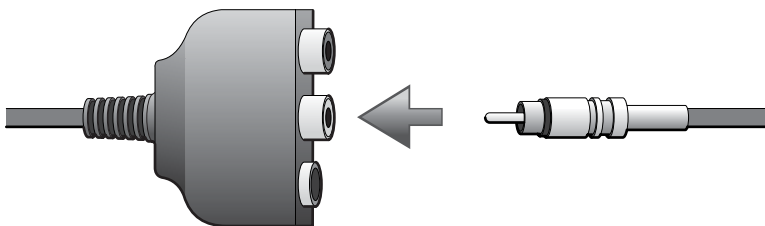
3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

4 コンポジットビデオケーブルのもう片方の端を、テレビのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

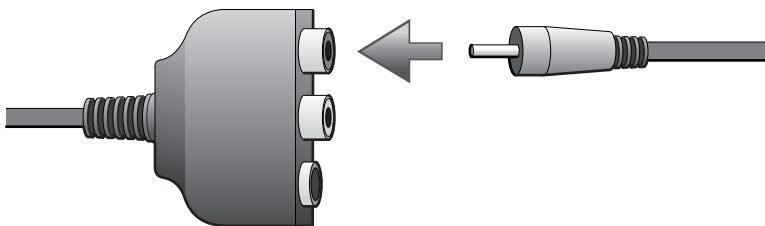
5 コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

6 もう片方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

コンポジットビデオおよびデジタルオーディオ

作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2 TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

4 コンポジットビデオケーブルのもう片方の端を、テレビのコンポジットビデオコネクタに差し込みます。

5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV / デジタルオーディオアダプタケーブルの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。

6 デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF コネクタに差し込みます。

テレビの表示設定を有効にする

ATI ビデオコントローラ

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。次に、**画面** アイコンをクリックし、**設定** タブをクリックして、**詳細設定** をクリックします。

3 **画面** タブをクリックします。

4 テレビを有効にするには、**TV** ボタンの左上角をクリックします。

5 テレビで DVD を再生するには、**TV** の絵の左下にある小さな「プライマリ」ボタン（金的と類似）をクリックします。

6 **適用** をクリックします。

7 **はい** をクリックして、新しい設定を保存します。

8 **OK** をクリックします。

メモ：様々なプログラムが違う方法でハードウェアにアクセスします。DVD を再生する以外に操作用のプライマリボタンをクリックする必要がある場合があります。

DVD ビデオは、プライマリに設定されている画面でのみ表示されます。DVD が再生している間、コンピュータのディスプレイにある DVD プレーヤーウィンドウは空白か、または（DVD プレーヤーウィンドウがフルスクリーンモードで設定されている場合）コンピュータ全体の画面が空白になります。

NVIDIA ビデオコントローラ

メモ：画面設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認してください。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。次に、**画面** アイコンをクリックし、**設定** タブをクリックして、**詳細設定** をクリックします。

3 **Nvidia GeForce** タブをクリックします。

4 左側のメニューで **nView** をクリックします。

5 テレビを有効にするには、**クローン** をクリックします。

6 **適用** をクリックします。

7 **OK** をクリックして、設定の変更を確定します。

8 **はい** をクリックして、新しい設定を保存します。

9 **OK** をクリックします。

S/PDIF デジタルオーディオを有効にする

DVD 再生用 Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にするには、98 ページを参照してください。

DVD 再生用 Dolby Digital 5.1 オーディオを有効にする

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用に Dolby Digital 5.1 オー ディオを有効にできます。

1 Windows デスクトップで **InterVideo WinDVD** アイコンをダブルクリックします。

2 DVD を DVD ドライブに挿入します。

DVD の再生が始まった場合、停止ボタンをクリックします。

3 プロパティ（スパナ）のアイコンをクリックします。

4 **オーディオ設定** タブをクリックします。

5 **S/PDIF 出力を有効にする** をクリックします。

6 **適用** をクリックします。

7 **OK** をクリックします。

Windows オーディオドライバで S/PDIF を有効にする

1 Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。

2 **オプション** メニューをクリックして、**トーン調整** をクリックします。

3 **トーン** をクリックします。

4 **Enable S/PDIF** をクリックします。

5 **閉じる** をクリックします。

メモ：Windows で S/PDIF を有効にすると、ヘッドフォンコネクタからの音声は無効になります。

6

第 6 章

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタへの接続

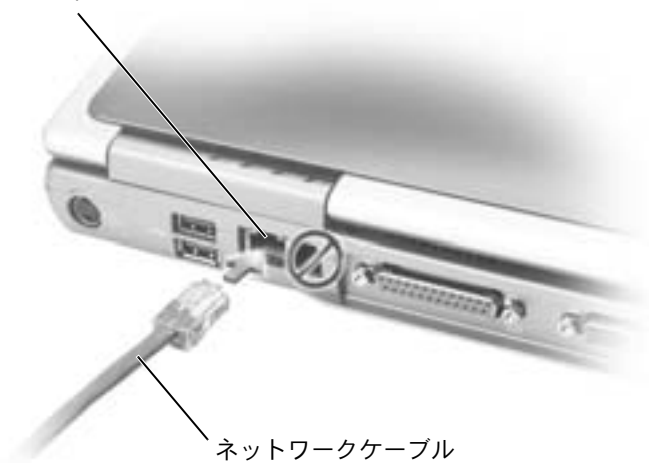
コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには …

1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。

2 ネットワークケーブルのもう片方の端を、壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

メモ：ケーブルをカチッと収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを慎重に引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

メモ：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
2. **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。
4. チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
5. ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

メモ：**インターネットに直接接続している** という接続方法を選択すると、Windows XP に組み込まれている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

ネットワークの問題

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルのコネクタがコンピュータにあるオプションのコネクタと、壁のネットワークジャックにしっかりと接続されているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークインジケータを確認します — 緑色に点灯している場合、ネットワークの接続に問題はありません。緑色に点灯していない場合、ネットワークケーブルを取り替えてみます。橙色に点灯している場合、オプションのネットワークアダプタドライバがロードされ、アダプタが検出されています。

コンピュータを再起動します — 再度、ネットワークにログオンしなおしてみます。

ネットワーク管理者に連絡します — ネットワークへの接続設定が正しいこと、およびネットワークが正常に機能しているかネットワーク管理者に確認します。

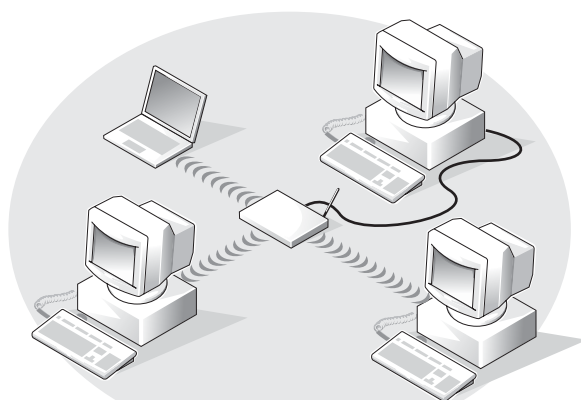
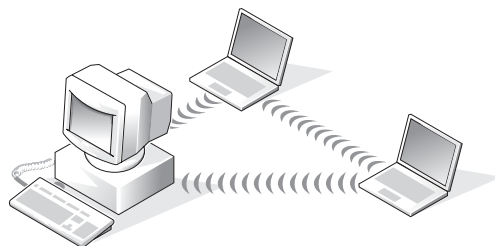
ワイヤレス LAN への接続

メモ：これらのネットワーク手順は、Bluetooth または携帯電話には適用されません。

ワイヤレス LAN に接続する前に、お使いのネットワークに特定の情報を知っておく必要があります。ネットワーク管理者からお使いのワイヤレスネットワークの名前および特別なセキュリティ設定の情報を入手してください。これらの設定はお使いのネットワークに固有のもので、デルが提供することはできません。

ネットワークタイプの識別

メモ：ほとんどのワイヤレスネットワークはインフラストラクチャタイプです。接続するネットワークのタイプが分からない場合、ネットワーク管理者に連絡してください。

ワイヤレスネットワークは、インフラストラクチャネットワークまたはアドホックネットワークの 2 つのカテゴリに分類されます。インフラストラクチャネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを相互接続します。アドホックネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用せず、互いにブロードキャストし合うコンピュータによって構成されます。

Microsoft® Windows® XP でのネットワークへの接続

お使いのワイヤレスネットワークカードを使用してネットワークに接続するには、適切なソフトウェアおよびドライバが必要です。このソフトウェアは工場出荷時にプリインストールされています。ソフトウェアが削除されているか壊れている場合、お使いのワイヤレスカードの『ユーザーズガイド』の手順に従ってください。『ユーザーズガイド』は、お使いのコンピュータに付属している『Drivers and Utilities CD』の「User's Guide-Network ユーザーズガイド」のカテゴリの中に収録されています。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**クラシック表示に切り替える** をクリックします。

2 **ネットワーク接続** をダブルクリックします。

3 **ワイヤレスネットワーク接続** をクリックします。

   ワイヤレスネットワーク接続 アイコンがハイライト表示されます。

4 左側ペインの **ネットワークタスク** で、**この接続の設定を変更する** をクリックします。

   ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ ウィンドウが表示されます。

5 **ワイヤレスネットワーク** タブを選びます。

6 **追加** をクリックします。

   ワイヤレスネットワークのプロパティ ウィンドウが表示されます。

メモ：お使いのコンピュータが認識しているワイヤレスネットワークの名前が **利用できるネットワーク** 領域の一覧に表示されます。

7 **ネットワーク名（SSID）** フィールドに、お使いのネットワーク名を入力します。

8 ルーターおよびアクセスポイントを使用しないアドホックネットワークを使用する場合、**これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワークでワイヤレスアクセスポイントを使用しない** とラベルが付いたチェックボックスをクリックします。

9 **OK** をクリックします。

新しいネットワーク名が **優先するネットワーク** 領域に表示されます。

ネットワーク接続の完了（セキュリティ設定）

ネットワーク接続を完了するには、ワイヤレスセキュリティ設定を接続するワイヤレスネットワークの設定と一致させる必要があります。お使いのネットワークのセキュリティ設定に基づいて、以下の接続オプションのうちの 1 つを選びます。

- セキュリティ関連要件なしでネットワークに接続する（ホーム / 小規模オフィスネットワークで使用）
- WPA（Wi-Fi プロテクテッドアクセス）セキュリティ要件でネットワークに接続する
- WEP（Wired Equivalent Protocol）セキュリティ要件でネットワークに接続する

メモ：ネットワークセキュリティ設定は、お使いのネットワーク管理者からのみ入手でき、お使いのネットワークに固有のものです。デルでは、この情報を提供することはできません。

セキュリティ関連要件なしでネットワークに接続する

1 **優先するネットワーク** 領域で、お使いのワイヤレスネットワーク名を選びます。

2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、**開いています** を選びます。

   デルワイヤレスソフトウェアの以前のバージョンでは、ドロップダウンメニューがないことがあります。以前のバージョンを使用している場合、**データの暗号化（WEP 有効）**チェックボックスのチェックマークを外して、手順 5 に進みます。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、**無効になっています** を選びます。

メモ：お使いのコンピュータは、ネットワークに接続するのに 1 分程かかる場合があります。

5 **OK** をクリックします。

   これで、ネットワークの設定は完了です。

WPA（Wi-Fi プロテクテッドアクセス）セキュリティ要件でネットワークに接続する

次の手順は、WPA ネットワークに接続するための基本的な手順です。お使いのネットワークでユーザー名、パスワード、またはドメイン設定が必要な場合、ワイヤレスネットワークカードの 『ユーザーズガイド』のセットアップ手順を参照してください。

1 **優先するネットワーク** セクションで、お使いのワイヤレスネットワーク名をクリックします。

2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、ネットワーク管理者から提供されたネットワーク認証タイプを選びます。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、ネットワーク管理者から提供されたデータの暗号化タイプを選びます。

5 お使いのワイヤレスネットワークでキーが必要な場合、**ネットワークキー** フィールドに入力します。

6 **OK** をクリックします。

これで、ネットワークの設定は完了です。

メモ：WPA プロトコルでは、ワイヤレスネットワークのネットワーク認証およびデータの暗号化設定を知っておく必要があります。また、お使いの WPA ネットワークでは、ネットワークキー、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名などの特別な設定が必要な場合があります。手順を続ける前に、ネットワーク管理者から必要な WPA 設定を入手してください。

メモ：お使いのコンピュータは、ネットワークに接続するのに 1 分程かかる場合があります。

WEP（Wired Equivalent Protocol）セキュリティ要件でネットワークに接続する

1 **優先するネットワーク** セクションで、お使いのワイヤレスネットワーク名をクリックします。

2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューで、**開いています** を選びます。

   デルワイヤレスソフトウェアの以前のバージョンでは、ドロップダウンメニューがないことがあります。以前のバージョンを使用している場合、**データの暗号化（WEP 有効）**とラベルが付いたチェックボックスにチェックマークを付けて、手順 5 に進みます。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、**WEP** を選びます。

5 ワイヤレスネットワークでネットワークキー（たとえば、パスワード）が必要でない場合、手順 8 に進みます。

6 **キーは自動的に提供される** とラベルが付いたチェックボックスのチェックマークを外します。

7 ネットワーク管理者から提供された WEP ネットワークキーを **ネットワークキー** フィールドに入力します。

8 このキーを **ネットワークキーの確認入力** フィールドに再度入力します。

メモ：お使いのコンピュータは、ネットワークに接続するのに 1 分程かかる場合があります。

9 **OK** をクリックします。

   これで、ネットワークの設定は完了です。

7

第 7 章

問題の解決

問題の特定

問題が発生した場合、下の図を使用して解決方法を説明しているページを参照してください。

メモ：外付けデバイスに問題がある場合、デバイスのマニュアルを参照するか、そのデバイスの製造元にお問い合わせください。

今、問題があるのは・・・
NO
ビデオまたはモニタです。
YES
114 ページ参照
サウンドまたはスピーカーです。
YES
84 ページ参照
プリンタです。
YES
47 ページ参照
モデムです。
YES
41 ページ参照
スキャナです。
YES
116 ページ参照
タッチパッドです。
YES
78 ページ参照
外付けキーボードです。
YES
78 ページ参照
入力時です。
YES
79 ページ参照
ハードドライブまたはディスクドライブです。
YES
117 ページ参照
ネットワークアダプタです。
YES
103 ページ参照
Windowsのエラーメッセージが表示されます。
YES
112 ページ参照
アプリケーションプログラムです。
YES
119 ページ参照
インターネットです。
YES
41 ページ参照
Eメールです。
YES
120 ページ参照
上記以外の問題がありますか？
YES
122 ページ参照

ヘルプへのアクセス

『はじめよう』ヘルプファイルにアクセスするには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
3 『はじめよう』ヘルプファイルをクリックします。

ヘルプにアクセスするには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
3 問題に関連するトピックをクリックします。
4 画面の指示に従います。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名に次の文字は使用できません : ¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動用以外のフロッピーディスクまたは CD から起動しようとしています。起動可能なフロッピーディスクまたは CD を挿入します。

非システムディスクまたはディスクエラーです — フロッピーディスクがフロッピードライブ内にあります。フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作をおこない、プログラムを削除して、再インストールします。

1 **スタート** ボタンをクリックします。
2 **コントロールパネル** をクリックします。
3 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
4 削除したいプログラムを選択します。
5 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
6 インストール手順については、プログラムに付属しているマニュアルを参照してください。

x:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを挿入して、もう一度試してみます。

ビデオとディスプレイの問題

画面に何も表示されない場合

メモ：お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

⏻ のライトを確認します — ⏻ のライトが点灯または点滅している場合、コンピュータに電源が入っています。

- ⏻ のライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。
- ⏻ のライトが消灯している場合、電源ボタンを押します。
- ⏻ のライトが点灯している場合、電源管理の設定により画面の電源が切れている可能性があります。任意のキーを押してみるか、またはカーソルを移動してスタンバイモードを終了します。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合、バッテリーの充電残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯していることを確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

電源オプションのプロパティを調整します — ヘルプとサポートセンターで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

画面モードを操作します — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、Fn F8 CRT/LCD を押して画面モードを切り換えます。

画面が見づらい場合

輝度を調整します — 輝度の調整については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

サブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します — 外付けスピーカーにサブウーハ—が含まれている場合、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 cm 以上離します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

WINDOWS の画面設定を調整します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照します — エラーメッセージが表示された場合、112 ページを参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します

1 コンピュータの電源を切り、外付けモニターをコンピュータに接続します。

2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラに欠陥がある可能性があります。デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

メモ：ISP（インターネットサービスプロバイダ）に接続できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能していて、問題が解決できない場合、ご利用の ISP にお問い合わせください。

スキャナーの問題

電源ケーブルの接続を確認します — スキャナーの電源ケーブルがコンセントにしっかりと接続され、スキャナーの電源が入っているか確認します。

スキャナーケーブルの接続を確認します — スキャナーケーブルがコンピュータとスキャナーにしっかりと接続されているか確認します。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

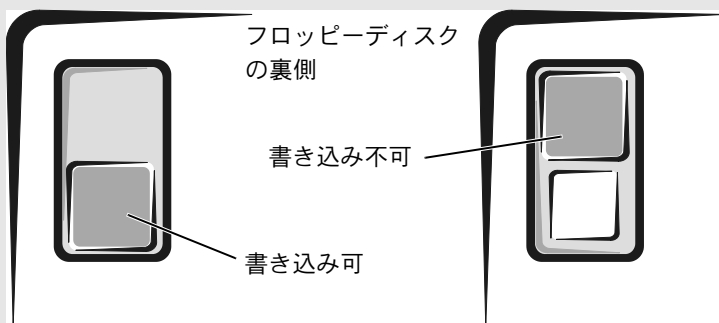
スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

ドライブの問題

フロッピードライブにファイルを保存できない場合

 メモ：フロッピーディスクへのファイルの保存については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。 のライトが点滅して、通常の動作を示していることを確認します。

ディスクが書き込み禁止になっていないことを確認します — 書き込み禁止になっているディスクにはデータを保存できません。次の図を参照してください。

別のフロッピーディスクを試します — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

ドライブを取り付けなおします

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2 ドライブをモジュールベイから取り外します。手順については、62 ページを参照してください。
3 ドライブを取り付けなおします。
4 コンピュータの電源を入れます。

ドライブをクリーニングします — クリーニングの手順については、『はじめよう』ヘルプファイルの「コンピュータをクリーニングする」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

ハードドライブに問題がある場合

コンピュータの温度が室温まで下がってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータの温度が室温まで下がってから電源を入れます。

ドライブのエラーを確認します

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 エラーが起こっているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
3 **ツール** タブをクリックします。
4 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
5 **開始** をクリックします。

PC カードの問題

PC カードを確認します — PCカードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS® でカードが認識されているか確認します — Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧に表示されていることを確認します。

デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

プログラムの一般的な問題

プログラムが壊れた場合

メモ：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムに付属しているマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアメーカーは、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。必要に応じて、プログラムを再インストールします。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

1 Ctrl Shift Esc Suspend を同時に押します。
2 **アプリケーション** タブをクリックして、反応がなくなったプログラムを選択します。
3 **タスクの終了** をクリックします。

エラーメッセージが表示される場合

「エラーメッセージ」を見なおします — メッセージを調べて、適切な処置をおこないます。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

E メールの問題

インターネットへの接続を確認します — 電子メールプログラム Outlook Express を起動して、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてチェックを外してからインターネットに接続します。

コンピュータが濡れた場合

警告：この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合、回路ブレーカーで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

1 コンピュータをシャットダウンし（49 ページ参照）、AC アダプタをコンピュータから取り外して、コンセントから AC アダプタを取り外します。

2 コンピュータに取り付けられている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから取り外します。

3 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。

4 モジュールベイデバイスを取り外し、取り付けられているすべての PC カードを取り外して、安全な場所に置いて乾燥させます。

5 バッテリーを取り外します。

6 バッテリーを拭き、安全な場所に置いて乾燥させます。

7 ハードドライブを取り外します（147 ページ参照）。

8 メモリモジュールを取り外します（136 ページ参照）。

9 ディスプレイを開き、コンピュータの右側を上にした状態で 2 冊の本や、それに代わる支えになる物の上に置いて、コンピュータ周辺の空気を循環させます。室温の乾燥した場所で、24 時間以上コンピュータを乾燥させます。

注意：乾燥時間を短くするため、ヘアードライヤーまたはファンなどの人工的な手段は用いないでください。

警告：感電を防ぐため、コンピュータが完全に乾いていることを確認してから、次の手順に進んでください。

10 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。

11 メモリモジュール、メモリモジュールカバー、ネジを取り付けます。

12 ハードドライブを取り付けます。

13 取り外したモジュールベイデバイスおよび PC カードを取り付けます。

14 バッテリーを取り付けます。

15 コンピュータの電源を入れて、コンピュータが正しく動作しているか確認します。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

メモ：製品の保証範囲については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

コンピュータを落としたり損傷を与えた場合

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。
2. AC アダプタをコンピュータおよびコンセントから取り外します。
3. コンピュータに取り付けられている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから取り外します。
4. バッテリーを取り外して、再度取り付けます。
5. コンピュータの電源を入れます。

メモ：製品の保証範囲については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください（163 ページ参照）。

その他の技術的な問題の解決

デルサポートウェブサイトへアクセスします — 一般的な使用方法、インストール、およびトラブルシューティングに関するご質問については **support.jp.dell.com** にアクセスします。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

E メールサポート — デルサポートウェブサイトにアクセスします。画面左側に表示される**テクニカルサポート欄** にある **E メールサポート** でご質問や不具合をデルテクニカルサポートにお問い合わせください。デルの担当者が E メールで、ご質問や不具合にお答えします。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

デルへ電話で問い合わせます — デルサポートウェブサイトで問題が解決しない場合、デルテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください（163 ページ参照）。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされていますので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバが収録されている場合もあります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合にドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[！] の付いた黄色い丸）が付いているものがないかを確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意：デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後にシステムが不安定になった場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** をクリックします。
6. 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
7. **ドライバ** タブをクリックします。
8. **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元（127 ページの 「システムの復元の使い方」を参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

Drivers and Utilities CD の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（127 ページの「システムの復元の使い方」を参照）で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities CD』からドライバを再インストールします。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

   ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合は Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。初めて CD を使用する場合、いくつかのセットアップファイルをインストールするよう指示されることがあります。**OK** をクリックし、画面の指示に従って続行します。

3 ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語をクリックします（利用可能な場合）。**Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。** 画面が表示されます。

4 **次へ** をクリックします。

CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

5 CD がハードウェアのスキャンを完了したら、その他のドライバおよびユーティリティを検出します。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選択します。

コンピュータで使用される特定のドライバおよびユーティリティのリンクが表示されます。

6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

インストール ボタンが表示されない場合、自動インストールは選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックし、解凍手順に従って、readme ファイルを参照してください。

ドライバファイルを探すようメッセージが表示された場合、**ドライバ情報** ウィンドウで CD ディレクトリをクリックし、そのドライバに関連するファイルを表示します。

Windows XP のドライバの手動再インストール

メモ：赤外線センサードライバを再インストールする場合は、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから（162 ページ参照）、ドライバのインストールを続行します。

1. 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. インストールするドライバのデバイスタイプをダブルクリックします （たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
5. インストールするデバイスの名前をダブルクリックします。
6. **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7. **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）**をクリックして、**次へ** をクリックします。
8. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍した場所を参照します。
9. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10. **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプを参照してください。

注意：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

復元ポイントの作成

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **システムの復元** をクリックします。
3 画面の手順に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3 コンピュータを復元する日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを表示して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントを利用できる日付は、すべて太字で表示されます。

4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。複数の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更する場合、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返したり、復元を元に戻すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

3 **次へ** をクリックします。

  システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

4 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

3 **システム** をクリックします。

4 **システムの復元** タブをクリックします。

5 **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合、Windows XP の IRQ コンフリクトが発生しています。

Windows XP を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。

3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。

4 **デバイスマネージャ** の一覧で、他のデバイスとのコンフリクトを調べます。

   コンフリクトの起こっているデバイスの横には、黄色の感嘆符（!）が付いていますので、コンフリクトが確認できます。赤色の x 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

5 コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを表示します。

   IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有しているカードまたはデバイスが表示されます。

6 **デバイスマネージャ** でデバイスを再設定したり、デバイスを削除してコンフリクトを解消します。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

再インストールする前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、まず Windows XP のデバイスドライバのロールバック（124ページ参照）を使います。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元（129 ページ参照）を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項で記載されている手順をすべて順番通りに実行します。

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムの再インストール後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意：『オペレーティングシステム CD』では、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

注意：Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。プログラムが自動的に起動した場合、作業を進める前にプログラムを閉じます。

3 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして（49 ページ参照）、コンピュータを再起動します。

4 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに F12 を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選び、Enter を押します。

6 `Press any key to boot from CD` というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、Enter を押して続行します。

2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、F8 CRT/LCD を押して、使用許諾契約書に同意します。

3 お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、r と入力して修復オプションを選び、CD をドライブから取り出します。

4 新たに Windows XP をインストールする場合、Esc Suspend を押してオプションを選択します。

5 Enter を押し、ハイライト表示されているパーティションを選択して（推奨）、画面の指示に従います。

Windows XP セットアップ 画面が表示され、Windows XP は、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に数回再起動します。

メモ：ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップにかかる時間は異なります。

注意：Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、地域の設定を必要に応じてカスタマイズし、**次へ** をクリックします。

7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力してから、**次へ** をクリックします。

8 Windows XP Home Edition を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか ?** ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名を入力（または記載の名前を承認）して、**次へ** をクリックします。

Windows XP Professional を再インストールする場合、**コンピュータ名と Administrator** ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。

9 **モデムのダイヤル情報** 画面が表示された場合、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。

10 **日付と時刻の設定** ウィンドウに日付と時間を入力して、**次へ** をクリックします。

11 **ネットワークの設定** 画面が表示された場合、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。

12 Windows XP Professional を再インストールし、ネットワーク設定に関するネットワーク情報を入力するよう求められた場合、ご自分の設定を入力します。設定がわからない場合は、デフォルトの選択肢を選んでください。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールし、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動します。

注意：Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

14 **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。

15 **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選んで、**次へ** をクリックします。

16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、5 名までユーザーを入力できます。**次へ** をクリックします。

17 **完了** をクリックし、セットアップを完了して、CD をドライブから取り出します。

ドライバおよびソフトウェアの再インストール

1 適切なドライバを再インストールします （123 ページ参照）。

2 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。 手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

3 その他のソフトウェアプログラムを再インストールします。 手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

8

第 8 章

部品の拡張および交換

- メモリの増設
- ミニ PCI カードの追加
- モデムの追加
- ハードドライブの交換

メモリの増設

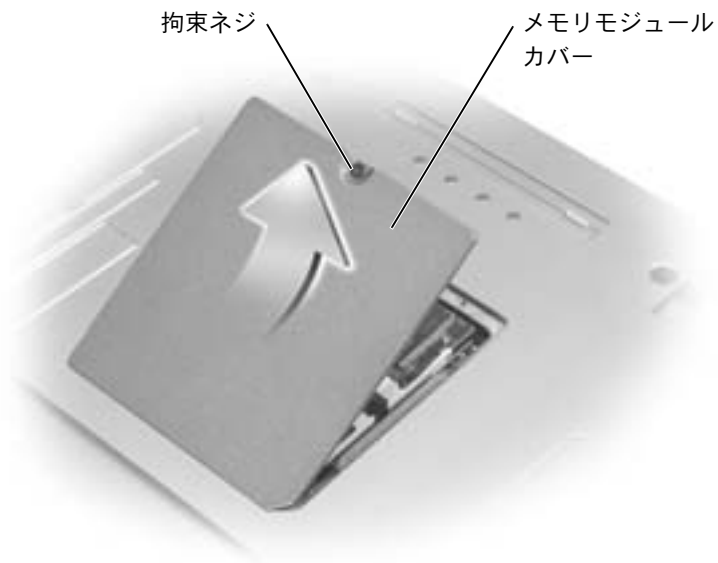
システム基板にメモリモジュールを取り付けることにより、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、150 ページを参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ：デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、このマニュアルの冒頭にある安全にお使いいただくための注意事項を参照してください（11 ページ参照）。

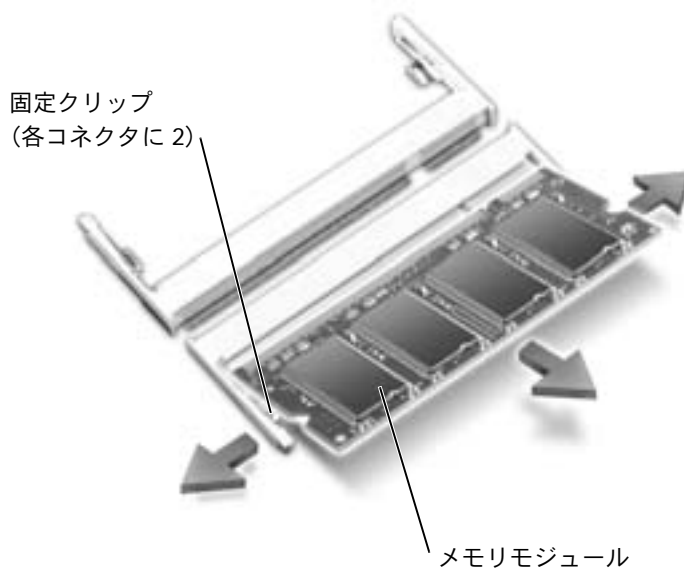
1. コンピュータカバーを傷つけないように、作業台が平らで、台の上が片付いていることを確認します。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
4. コンピュータをコンセントから外します。
5. 10 ～ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

注意：コンポーネントおよびカードは縁を持ち、ピンや接点に触れないようにしてください。コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7 コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩めて、カバーを取り外します。

注意：メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、ツールを使用してメモリモジュールを固定しているクリップを広げないでください。

8 メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを取り外します。

a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

b モジュールをコネクタから取り外します。

注意：メモリモジュールを両方のコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMM A」とラベルが付いているコネクタに取り付け、次に「DIMM B」とラベルが付いているコネクタに取り付けます。コネクタの損傷を防ぐため、メモリモジュールを 45 度の角度で挿入します。

9 身体の静電気を逃がしてから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

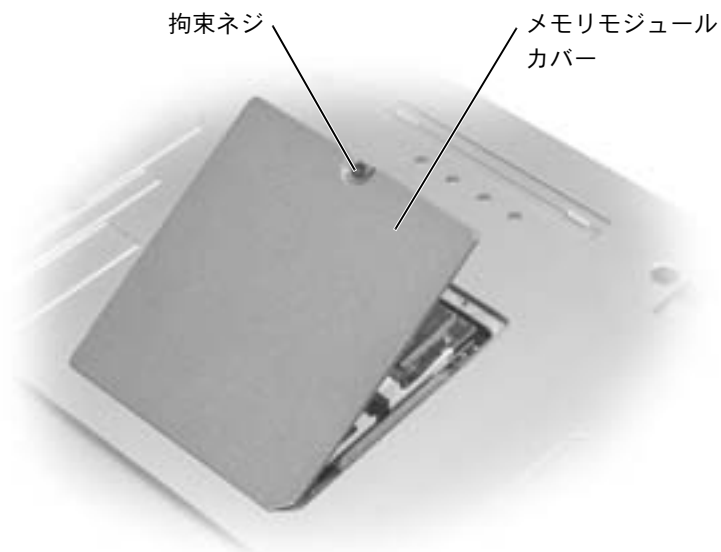
a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

注意：モジュールは、切り込みのある短い方の縁を持ちます。外側の長い方の縁を持たないでください。

b 切り込みのある短い方のモジュールの縁を持ち、コネクタにしっかりとメモリモジュールを挿入し、カチッと収まるまで押し下げます。カチッと収まらない場合は、モジュールを取り外して、再度取り付けます。

10 カバーを取り付けます。

注意：カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して再度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損することがあります。

11 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

12 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム設定情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

ミニ PCI カードの追加

ミニ PCI カードをコンピュータと一緒にご購入された場合、カードは既に取り付けられています。

警告：FCC 規定により、いかなる状況においてもユーザーが 5 GHz（802.11a、802.11a/b、および 802.11a/b/g）のワイヤレス LAN ミニ PCI カードを取り付けることはできません。訓練を受けたデルのサービス技術者でない限り、5 GHz のワイヤレス LAN ミニ PCI カードを取り付けることはできません。

2.4 GHz（802.11b、または 802.11b/g）のミニ PCI カードを取り外したり取り付ける場合、以下の手順に従ってください。お使いのノートブックコンピュータでの使用が認められている製品のみ取り付けてください。使用が認められているミニ PCI カードは、デルで購入することができます。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、このマニュアルの冒頭にある安全にお使いいただくための注意事項を参照してください（11 ページ参照）。

メモ：2.4 GHz ワイヤレス LAN PC カードは、ユーザーご自身で取り外したり取り付けることができます。

1 コンピュータカバーを傷つけないように、作業台が平らで、台の上が片付いていることを確認します。

2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。

3 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

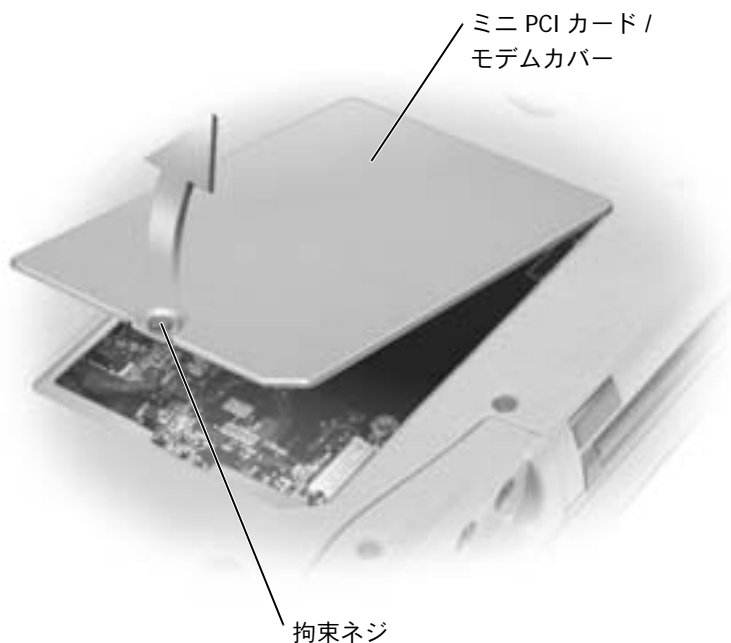
4 コンピュータをコンセントから外します。

5 10 〜 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。

6 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

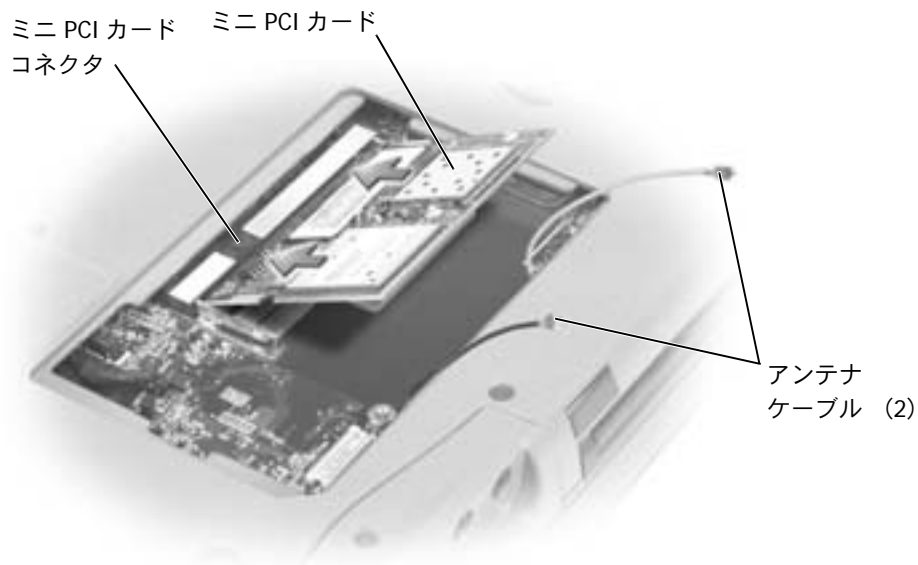
注意：コンポーネントおよびカードは縁を持ち、ピンや接点に触れないようにしてください。コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7 コンピュータを裏返します。

8 ミニ PCI カード / モデムカバーの拘束ネジを緩めて、カバーを取り外します。

9 ミニ PCI カードが取り付けられていない場合、手順 10 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。

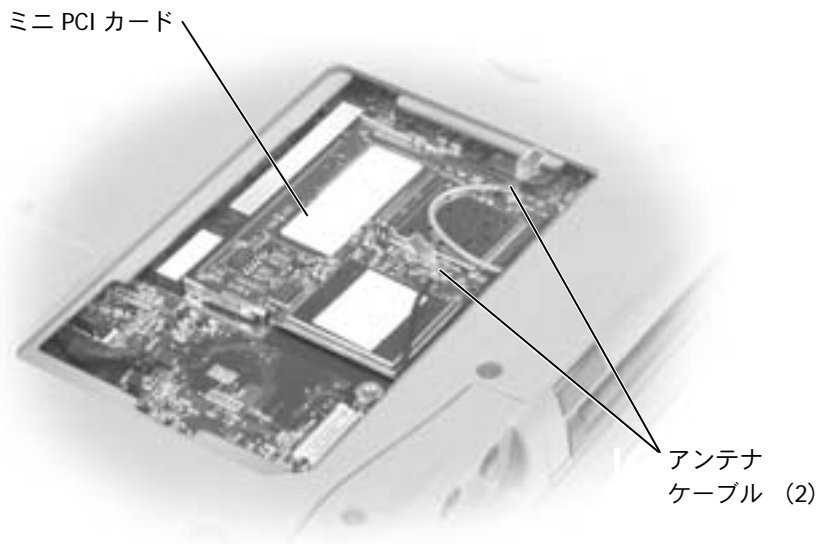
a ミニ PCI カードに取り付けられているすべてのケーブルを取り外します。

b ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。

c ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げて、取り外します。

注意：ミニ PCI カードの損傷を防ぐため、ケーブルはカードの上や下を通して配線しないでください。

注意：コネクタは確実に挿入できるよう設計されています。抵抗を感じる場合、コネクタを確認してカードを揃えなおします。

10 ミニ PCI カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッと収まるまでミニ PCI カードをコネクタに押し込みます。

11 アンテナケーブルをミニ PCI カードに接続します。

12 カバーを取り付けて、ネジを締めます。

モデムの追加

コンピュータのご購入時にオプションのモデムもご購入された場合は、出荷時にモデムが取り付けられています。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、このマニュアルの冒頭にある安全にお使いいただくための注意事項を参照してください（11 ページ参照）。

注意：コンポーネントおよびカードは縁を持ち、ピンや接点に触れないようにしてください。

1 コンピュータカバーを傷つけないように、作業台が平らで、台の上が片付いていることを確認します。

2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。

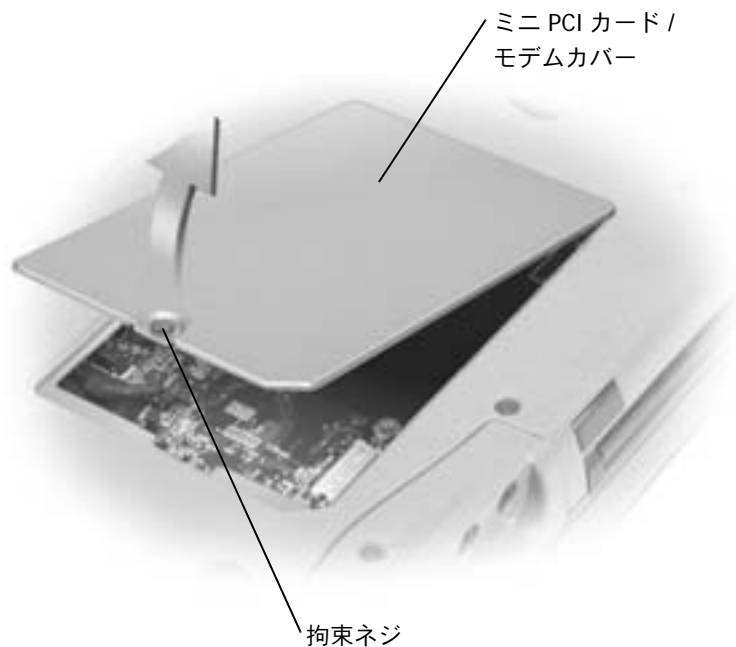
3 コンピュータがドッキングされている場合、ドッキングを解除します。

4 コンピュータをコンセントから外します。

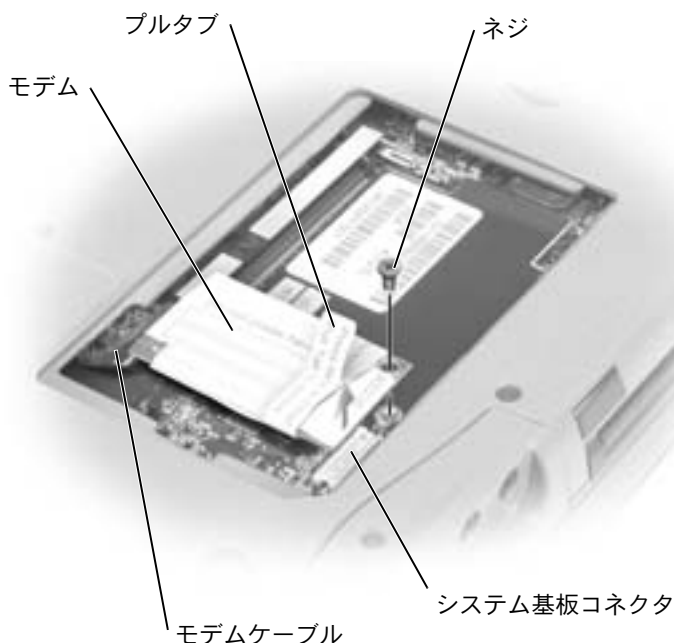
5 10〜20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。

6 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびデバイスを取り外します。

7 コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

8 コンピュータを裏返し、ミニ PCI カード / モデムカバーの拘束ネジを緩めます。

9 モデムが取り付けられていない場合、手順 10 に進みます。モデムを交換する場合、既存のモデムを取り外します。

a モデムをシステム基板に固定しているネジを外し、横に置きます。

b 取り付けられているプルタブをまっすぐに持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。

10 モデムケーブルをモデムに接続します。

注意：ケーブルコネクタは、正しく挿入できるように設計されています。無理に接続しないでください。

11 モデムをネジ穴に合わせ、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。

12 モデムをシステム基板に固定するネジを取り付けます。

13 ミニ PCI カード / モデムカバーを取り付けます。

ハードドライブの交換

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、このマニュアルの冒頭にある安全にお使いいただくための注意事項を参照してください（11 ページ参照）。

注意：データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください（49 ページ参照）。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモード、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意：ハードドライブは大変壊れやすく、わずかな衝撃でもドライブが損傷を受ける場合があります。

メモ：Microsoft® Windows® オペレーティングシステムをインストールするには、『オペレーティングシステム CD』が必要です。また、新しいハードドライブにドライバおよびユーティリティをインストールするには、お使いのコンピュータ用の『Drivers and Utilities CD』が必要です。

メモ：デルでは、デル製以外のハードドライブの互換性の保証やサポートをおこなっておりません。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには …

1 コンピュータカバーを傷つけないように、作業台が平らで、台の上が片付いていることを確認します。
2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（49 ページ参照）。
3 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
4 コンピュータをコンセントから外します。
5 10 ～ 20 秒待ってから、取り付けられているすべてのデバイスを取り外します。
6 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、およびモジュールベイデバイスを取り外します。

注意：コンポーネントおよびカードは縁を持ち、ピンや接点に触れないようにしてください。コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

7 コンピュータを裏返し、ハードドライブネジを外します。

注意：ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。静電気障害への対処については、18 ページを参照してください。

8 ハードドライブをコンピュータから引き出します。

9 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや持ち運ぶために、梱包を保管しておいてください。

注意：ドライブを挿入する際は、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

10 ハードドライブが完全にベイに装着されるまでスライドします。

11 ネジを取り付けて締めます。

12 『オペレーティングシステム CD』を使用して、コンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします（131 ページ参照）。

13 『Drivers and Utilities CD』を使用して、コンピュータで使用するドライバおよびユーティリティをインストールします（123 ページ参照）。

9

第 9 章

付録

仕様

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサタイプ	モバイル インテル® Pentium® 4M
L1 キャッシュ	8 KB（内蔵）
L2 キャッシュ	512 KB（ダイ）
外付けバスの周波数	400 MHz

システム情報	
システムチップセット	Intel 845MP
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅	32 ビット

PC カード	
CardBus コントローラ	TI 4510 CardBus コントローラ
PC カードコネクタ	Type I または Type II カードを 1 枚サポート
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅（最大）	PCMCIA 16 ビット CardBus 32 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ソケット × 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、および 1,024 MB
メモリのタイプ	266 MHz DDR SDRAM
標準メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB

ポートとコネクタ	
シリアル	9 ピンコネクタ — 16550C 互換 16 バイトバッファコネクタ
パラレル	25ピンコネクタ（メス）— 一方向､双方向、または ECP
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
オーディオ	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ × 2
赤外線センサー	IrDA 標準 1.1（Fast IR）および IrDA 標準 1.0（Slow IR）の互換センサー
S ビデオ TV 出力	S ビデオ対応 7 ピンミニ DIN コネクタ、コンポジットビデオ、および S/PDIF（TV / デジタルオーディオアダプタケーブルでコンポジットビデオおよび S/PDIF をサポート）
ミニ PCI	Type IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
IEEE 1394	4 ピンシリアルコネクタ

通信	
モデム：	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内蔵 AC'97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板上に 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵ミニ PCI Wi-Fi（802.11a および / または 802.11b）ワイヤレスをサポート、Bluetooth™（オプション、購入時のみ入手可能）

ビデオ	
ビデオのタイプ	64 ビットハードウェアアクセラレート（ATI M9）、128 ビットハードウェアアクセラレート（NVIDIA NV28m）
データバス	4 倍速 AGP
ビデオコントローラ	ATI M9 または NVIDIA NV28m
ビデオメモリ	32 MB または 64 MB
LCD インタフェース	LVDS
サポートするテレビ	S ビデオおよびコンポジットモードで NTSC または PAL

オーディオ	
オーディオタイプ	Intel AC’97
ステレオ変換	20 ビット（ステレオ DA 変換） 18 ビット（ステレオ AD 変換）
インタフェース：	
内部	AC’97
外部	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャネル（4 Ω）
ボリュームコントロール	キーボードショートカット、プログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリクス TFT）	WUXGA、WSXGA+、および WXGA
寸法：	
高さ	222.5 mm
幅	344.5 mm
対角線	391.2 mm
最大解像度	1920 × 1200（WUXGA） 1680 × 1050（WSXGA+） 1280 × 800（WXGA）
応答時間（標準）	立ち下がり：35 ミリ秒（最大）
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0 度（閉じた状態）～ 180 度

ディスプレイ（続き）	
表示角度：	
水平方向	±65 度
垂直方向	±50 度
ピクセルピッチ	0.1725 （WUXGA） 0.1971 （WSXGA+） 0.2588 （WXGA）
消費電力：	
バックライトのパネル（標準）	5.5 W
コントロール	輝度はキーボードショートカットによって調節可能

キーボード	
キー数	87（アメリカおよびカナダ）、 88（ヨーロッパ）、91（日本）
キーストローク	2.7 mm ± 0.3 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X / Y 位置解像度 （グラフィックテーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	64.88 mm（センサー感知領域）
縦幅	48.88 mm（長方形）

トラックスティック	
X/Y 位置解像度 （グラフィックテーブルモード）	250 回 / 秒 @ 100 gf
サイズ	キーボードよりも 0.5 mm 高い

バッテリー	
タイプ	9 セル「スマート」リチウムイオン（72 WHr）
寸法：	
奥行き	222.8 mm
厚み	22.5 mm
幅	67 mm
重量	0.48 kg
電圧	11.1 VDC
充電時間（コンピュータの電源が切れている場合）	80 % に達するまで約 1 時間
駆動時間	約 3～ 4時間 — 電力を多く必要とする特定の状況下では、著しく短縮されます。
寿命（概算）	300 サイクル（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0 °C ～ 35 °C
保管時	– 40 °C ～ 65 °C

AC アダプタ	
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電流	4.62 A
出力電圧	90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
高さ	27.94 mm
幅	58.42 mm
奥行き	133.85 mm
重量（ケーブル含む）	0.4 kg
温度範囲：	
動作時	0 °C ～ 35 °C
保管時	– 40 °C ～ 65 °C

サイズと重量	
高さ	38 mm
幅	359 mm
奥行き	274 mm
重量：	
トラベルモジュールおよび 72 WHr バッテリーの場合	3.10 kg
CD ドライブおよび 72 WHr バッテリーの場合	3.29 kg

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ℃ 〜 35 ℃
保管時	– 40 ℃ 〜 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 % 〜 90 %（結露しないこと）
保管時	5 % 〜 95 %（結露しないこと）
最大震動（ユーザー環境をシミュレートするランダムバイブレーションスペクトラムを使用）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃（ハードドライブにヘッドを固定した位置、および 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定）：	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度（最大）：	
動作時	– 15.2 〜 3,048 m
保管時	– 15.2 〜 10,668 m

標準設定

概要

次のような場合に、セットアップユーティリティを起動します。

- コンピュータのパスワードなど、ユーザーが選択可能な機能の設定および変更
- システムのメモリ量など現在のコンピュータの設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を書き留めます。

メモ：セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。（**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効、または無効に設定できます。）オペレーティングシステムの設定機能の詳細については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブパスワードの設定

注意：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに F2 を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

セットアップユーティリティ画面

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定または数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを押さえた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータについての情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

よく使用されるオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

メモ：起動順序を一回だけ変更するには、161 ページを参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **CD/DVD/CD-RW drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、↑ または ↓ キーを押して、デバイスを選び（ハイライト表示し）、デバイスを有効または無効にしたり、リスト内の順序を変更することができます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示にして、Space bar を押します。有効なアイテムは白色に表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- リスト内のデバイスの順番を変更するには、デバイスをハイライト表示して、U または D を押して（大文字と小文字は区別されません）、ハイライト表示されたデバイスを上下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存してセットアップユーティリティを終了すると、すぐに有効になります。

一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけ起動順序が設定できます。（この手順を使って、ハードドライブ上の Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動することもできます。）

1 コンピュータの電源を切ります。
2 コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合、ドッキングを解除します。手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
3 コンピュータをコンセントに接続します。
4 コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたら、すぐに F12 を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
5 起動デバイスの一覧が表示された場合、起動したいデバイスをハイライト表示して、Enter を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序が復元されます。

プリンタモードの変更

パラレルコネクタに接続されているプリンタまたはデバイスのタイプに合わせて、**Parallel Mode** オプションを設定します。使用する正しいモードを確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Parallel Mode を **Disabled** に設定すると、パラレルポートとポートの LPT アドレスが無効になり、コンピュータリソースが空きますので、別のデバイスが使用できるようになります。

COM ポートの変更

Serial Port を使って、シリアルポート COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にできます。コンピュータリソースが空きますので、別のデバイスが使用できるようになります。

赤外線センサーの有効化

1 セットアップユーティリティを起動します。

  a コンピュータの電源を入れます。

  b DELL™ のロゴが表示されたら、<F2> を押します。

2 **Basic Device Configuration** に **Infrared Data Port** が表示されるまで、<Alt><P> を押します。

3 下矢印キーを押して、**Infrared Data Port** 設定を選択し、右矢印キーを押して、COM ポートの設定を変更します。

メモ：シリアルコネクタに割り当てられた COM ポートと異なる COM ポートを選択したか確認します。

4 下矢印キーを押して、**Infrared Mode** 設定を選択します。次に、右矢印キーを押して、設定を **Fast IR** または **Slow IR** に変更します。

  Fast IR の使用をお勧めします。赤外線デバイスがお使いのコンピュータと通信できない場合、コンピュータをシャットダウンし、手順 1 ～ 5 を繰り返して設定を **Slow IR** に変更します。

5 <Esc> を押して、**Yes** をクリックし、変更を保存して、セットアップユーティリティを終了します。コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されたら、**Yes** をクリックします。

6 画面の手順に従います。

7 赤外線センサーを有効にした後、**Yes** をクリックして、コンピュータを再起動します。

メモ：Fast IR および Slow IR のどちらも機能しない場合は、赤外線デバイスの製造元にお問い合わせください。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスを設定および使用するには、赤外線デバイスのマニュアルおよび Microsoft® Windows® ヘルプとサポートセンターを参照してください。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになるときは、各国のデルの電話番号、E メールアドレスをまとめた以下の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
日本（川崎）	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	テクニカルサポート （Dimension™ および Inspiron™ ）	フリーコール：0120-198-226
国番号：**81**	テクニカルサポート（海外から） （Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
市外局番：**44**	ファックス情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
アングイラ	一般サポート	フリーコール：800-335-0031
アンティグア・バーブーダー	一般サポート	1-800-805-5924
アルゼンチン（ブエノスアイレス）	ウェブサイト：**www.dell.com.ar**	
国際電話アクセスコード：**00**	テクニカルサポートおよびカスタマーケア	フリーコール：0-800-444-0733
国番号：**54**	セールス	0-810-444-3355
市外局番：**11**	テクニカルサポート Fax	11 4515 7139
	カスタマーケア Fax	11 4515 7138
アルーバ	一般サポート	フリーコール：800-1578
オーストラリア（シドニー）	E メール（オーストラリア）：au_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード：**0011**	E メール（ニュージーランド）：nz_tech_support@dell.com	
国番号：**61**	Home / Small Business	1-300-65-55-33
市外局番：**2**	Government / Business	フリーコール：1-800-633-559
	PAD（優先アカウント部門）	フリーコール：1-800-060-889
	カスタマーケア	フリーコール：1-800-819-339
	法人セールス	フリーコール：1-800-808-385
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：1-800-808-312
	Fax	フリーコール：1-800-818-341
オーストリア（ウィーン）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**900**	E メール：tech_support_central_europe@dell.com	
国番号：**43**	Home / Small Business セールス	0820 240 530 00
市外局番：**1**	Home / Small Business Fax	0820 240 530 49
	Home / Small Business カスタマーケア	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人カスタマーケア	0820 240 530 16
	Home / Small Business テクニカルサポート	0820 240 530 14
	優先アカウント / 法人テクニカルサポート	0660 8779
	代表	0820 240 530 00
バハマ	一般サポート	フリーコール：1-866-278-6818
バルバドス	一般サポート	1-800-534-3066

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
ベルギー（ブリュッセル）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：tech_be@dell.com	
国番号：**32**	E メール（フランス語用）：**support.euro.dell.com/be/fr/emaildell/**	
市外局番：**2**	テクニカルサポート	02 481 92 88
	カスタマーケア	02 481 91 19
	法人セールス	02 481 91 00
	Fax	02 481 92 99
	代表	02 481 91 00
バミューダ	一般サポート	1-800-342-0671
ボリビア	一般サポート	フリーコール：800-10-0238
ブラジル	ウェブサイト：**www.dell.com/br**	
国際電話アクセスコード：**00**	カスタマーサポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国番号：**55**	テクニカルサポート Fax	51 481 5470
市外局番：**51**	カスタマーケア Fax	51 481 5480
	セールス	0800 90 3390
英国領バージン諸島	一般サポート	フリーコール：1-866-278-6820
ブルネイ	カスタマーテクニカルサポート（マレーシア、ペナン）	604 633 4966
国番号：**673**	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
	Dimension / Inspiron セールス（マレーシア、ペナン）	604 633 4955

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
カナダ（オンタリオ州ノースヨーク） 国際電話アクセスコード：**011**	Online Order Status （オンラインオーダーステータス）: **www.dell.ca./ostatus**	
	AutoTech（自動テクニカルサポート）	フリーコール：1-800-247-9362
	テクニカル Fax	フリーコール：1-800-950-1329
	カスタマーケア（Home / Small Business セールス）	フリーコール：1-800-847-4096
	カスタマーケア（中 / 大企業、政府機関）	フリーコール：1-800-326-9463
	テクニカルサポート（Home / Small Business セールス）	フリーコール：1-800-847-4096
	テクニカルサポート（中 / 大企業、政府機関）	フリーコール：1-800-387-5757
	セールス（Home / Small Business セールス）	フリーコール：1-800-387-5752
	セールス（中 / 大企業、政府機関）	フリーコール：1-800-387-5755
	交換部品販売および期間延長サービスセールス	1 866 440 3355
ケイマン諸島	一般サポート	1-800-805-7541
チリ（サンチアゴ） 国番号：**56** 市外局番：**2**	セールス、カスタマーサポート、テクニカルサポート	フリーコール：1230-020-4823

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
中国（廈門）	テクニカルサポートウェブサイト：**support.ap.dell.com/china**	
国番号：**86**	テクニカルサポート E メール：cn_support@dell.com	
市外局番：**592**	テクニカルサポート Fax	818 1350
	Home / Small Business テクニカルサポート	フリーコール：800 858 2437
	法人アカウントテクニカルサポート	フリーコール：800 858 2333
	カスタマーエクスペリエンス	フリーコール：800 858 2060
	Home / Small Business	フリーコール：800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーコール：800 858 2062
	大口法人アカウント（GCP）	フリーコール：800 858 2055
	大口法人アカウント（主要アカウント）	フリーコール：800 858 2628
	大口法人アカウント（北部）	フリーコール：800 858 2999
	大口法人アカウント（North Government and Education）	フリーコール：800 858 2955
	大口法人アカウント（東部）	フリーコール：800 858 2020
	大口法人アカウント（East Government and Education）	フリーコール：800 858 2669
	大口法人アカウント（待機チーム）	フリーコール：800 858 2572
	大口法人アカウント（南部）	フリーコール：800 858 2355
	大口法人アカウント（西部）	フリーコール：800 858 2811
	大口法人アカウント（交換部品）	フリーコール：800 858 2621
コロンビア	一般サポート	980-9-15-3978
コスタリカ	一般サポート	0800-012-0435

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
チェコ共和国（プラハ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：czech_dell@dell.com	
国番号：**420**	テクニカルサポート	02 2186 27 27
市外局番：**2**	カスタマーケア	02 2186 27 11
	Fax	02 2186 27 14
	テクニカル Fax	02 2186 27 28
	代表	02 2186 27 11
デンマーク（コペンハーゲン）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メールサポート（ノートブックコンピュータ）：den_nbk_support@dell.com	
国番号：**45**	E メールサポート（デスクトップコンピュータ）：den_support@dell.com	
	E メールサポート（サーバー）：Nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	7023 0182
	カスタマーケア（Latitude™ / OptiPlex™ / Dell Precision™）	7023 0184
	Home / Small Business カスタマーケア	3287 5505
	代表（Latitude / OptiPlex / Dell Precision）	3287 1200
	Fax 代表（Latitude / OptiPlex / Dell Precision）	3287 1201
	代表（Home / Small Business）	3287 5000
	Fax 代表（Home / Small Business）	3287 5001
ドミニカ	一般サポート	フリーコール：1-866-278-6821
ドミニカ共和国	一般サポート	1-800-148-0530
エクアドル	一般サポート	フリーコール：999-119
エルサルバドル	一般サポート	01-899-753-0777

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名または** **サービス内容** **ウェブサイトおよび E メールアドレス**	**市内番号** **市外局番および** **フリーコール番号**
フィンランド（ヘルシンキ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**990**	E メール：fin_support@dell.com	
国番号：**358**	E メールサポート（サーバー）：Nordic_support@dell.com	
市外局番：**9**	テクニカルサポート	09 253 313 60
	テクニカルサポート Fax	09 253 313 81
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision カスタマーケア	09 253 313 38
	Home / Small Business カスタマーケア	09 693 791 94
	Fax	09 253 313 99
	代表	09 253 313 00
フランス（パリ）（モンペリエ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：**support.euro.dell.com/fr/fr/emaildell/**	
国番号：**33**	**Home / Small Business 向け**	
市外局番：（**1**）（**4**）	テクニカルサポート	0825 387 270
	カスタマーケア	0825 823 833
	代表	0825 004 700
	代表（フランス国外からの場合）	04 99 75 40 00
	セールス	0825 004 700
	Fax	0825 004 701
	Fax（フランス国外からの場合）	04 99 75 40 01
	法人向け	
	テクニカルサポート	0825 004 719
	カスタマーケア	0825 338 339
	代表	01 55 94 71 00
	セールス	01 55 94 71 00
	Fax	01 55 94 71 01

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
ドイツ（ランゲン）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：tech_support_central_europe@dell.com	
国番号：**49**	テクニカルサポート	06103 766-7200
市外局番：**6103**	Home / Small Business カスタマーケア	0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103 766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103 766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103 766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103 766-9555
	代表	06103 766-7000
ギリシャ	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：**support.euro.dell.com/gr/en/emaildell/**	
国番号：**30**	テクニカルサポート	080044149518
	ゴールドテクニカルサポート	08844140083
	代表	2108129800
	セールス	2108129800
	Fax	2108129812
グレナダ	一般サポート	フリーコール：1-866-540-3355
ガテマラ	一般サポート	1-800-999-0136
ガイアナ	一般サポート	フリーコール：1-877-270-4609
香港	ウェブサイト：**support.ap.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	E メール：ap_support@dell.com	
国番号：**852**	テクニカルサポート（Dimension / Inspiron）	296 93188
	テクニカルサポート（OptiPlex / Latitude / Dell Precision）	296 93191
	カスタマーサービス（テクニカル以外、ポストセールス）	800 93 8291
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：800 96 4109
	大口アカウント（香港）	フリーコール：800 96 4108
	大口アカウント（GCP 香港）	フリーコール：800 90 3708

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
インド	テクニカルサポート	1600 33 8045
	セールス	1600 33 8044
アイルランド（チェリーウッド）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**16**	E メール：dell_direct_support@dell.com	
国番号：**353**	アイルランドテクニカルサポート	1850 543 543
市外局番：**1**	UK テクニカルサポート（UK 国内からかける場合のみ）	0870 908 0800
	ホームユーザーカスタマーケア	01 204 4014
	Small Business カスタマーケア	01 204 4014
	UK カスタマーケア（UK 国内からかける場合のみ）	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	1850 200 982
	法人カスタマーケア（UK 国内からかける場合のみ）	0870 907 4499
	アイルランドセールス	01 204 4444
	UK セールス（UK 国内からかける場合のみ）	0870 907 4000
	Fax / セールス Fax	01 204 0103
	代表	01 204 4444
イタリア（ミラノ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：**support.euro.dell.com/it/it/emaildell/**	
国番号：**39**	**Home / Small Business 向け**	
市外局番：**02**	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 696 821 14
	Fax	02 696 821 13
	代表	02 696 821 12
	法人向け	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 577 825 55
	Fax	02 575 035 30
	代表	02 577 821
ジャマイカ	一般サポート（ジャマイカ国内からかける場合のみ）	1-800-682-3639

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
韓国（ソウル）	テクニカルサポート	フリーコール：080-200-3800
国際電話アクセスコード：**001**	セールス	フリーコール：080-200-3600
国番号：**82**	カスタマーサービス（韓国、ソウル）	フリーコール：080-200-3800
市外局番：**2**	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633-4949
	Fax	2194-6202
	代表	2194-6000
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4093
	カスタマーサービス（米国、テキサス州オースチン）	512 728-3619
	Fax（テクニカルサポートおよびカスタマーサービス）（米国、テキサス州オースチン）	512 728-3883
	セールス（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4397
	セールス Fax（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4600 または 512 728-3772
ルクセンブルグ	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：tech_be@dell.com	
国番号：**352**	テクニカルサポート（ベルギー、ブリュッセル）	3420808075
	Home / Small Business セールス（ベルギー、ブリュッセル）	フリーコール：080016884
	法人セールス（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 00
	カスタマーケア（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 19
	Fax（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 92 99
	代表（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 00
マカオ	テクニカルサポート	フリーコール：0800 582
国番号：**853**	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：0800 581
マレーシア（ペナン）	テクニカルサポート	フリーコール：1 800 888 298
国際電話アクセスコード：**00**	カスタマーサービス	04 633 4949
国番号：**60**	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：1 800 888 202
市外局番：**4**	法人セールス	フリーコール：1 800 888 213

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
メキシコ 国際電話アクセスコード：**00** 国番号：**52**	カスタマーテクニカルサポート	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383
	セールス	50-81-8800 または 01-800-888-3355
	カスタマーサービス	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383
	代表	50-81-8800 または 01-800-888-3355
モントセラト	一般サポート	フリーコール：1-866-278-6822
オランダ領アンティル諸島	一般サポート	001-800-882-1519
オランダ（アムステルダム） 国際電話アクセスコード：**00** 国番号：**31** 市外局番：**20**	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
	E メール（テクニカルサポート）:	
	（Enterprise）: nl_server_support@dell.com	
	（Latitude）: nl_latitude_support@dell.com	
	（Inspiron）: nl_inspiron_support@dell.com	
	（Dimension）: nl_dimension_support@dell.com	
	（OptiPlex）: nl_optiplex_support@dell.com	
	（Dell Precision）: nl_workstation_support@dell.com	
	テクニカルサポート	020 674 45 00
	テクニカルサポート Fax	020 674 47 66
	Home / Small Business カスタマーケア	020 674 42 00
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision カスタマーケア	020 674 43 25
	Home/Small Business セールス	020 674 55 00
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision セールス	020 674 50 00
	Home/Small Business セールス Fax	020 674 47 75
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision セールス Fax	020 674 47 50
	代表	020 674 50 00
	代表 Fax	020 674 47 50

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
ニュージーランド	E メール（ニュージーランド）：nz_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール（オーストラリア）：au_tech_support@dell.com	
国番号：**64**	Home / Small Business	0800 446 255
	Government / Business	0800 444 617
	セールス	0800 441 567
	Fax	0800 441 566
ニカラグア	一般サポート	001-800-220-1006
ノルウェー（リサケー）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メールサポート（ノートブックコンピュータ）： nor_nbk_support@dell.com	
国番号：**47**	E メールサポート（デスクトップコンピュータ）： nor_support@dell.com	
	E メールサポート（サーバー）：nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	671 16882
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision カスタマーケア	671 17514
	Home / Small Business カスタマーケア	23162298
	代表	671 16800
	Fax 代表	671 16865
パナマ	一般サポート	001-800-507-0962
ペルー	一般サポート	0800-50-669
ポーランド（ワルシャワ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**011**	E メール：pl_support@dell.com	
国番号：**48**	カスタマーサービスフォン	57 95 700
市外局番：**22**	カスタマーケア	57 95 999
	セールス	57 95 999
	カスタマーサービス Fax	57 95 806
	レセプションデスク Fax	57 95 998
	代表	57 95 999

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
ポルトガル	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：**support.euro.dell.com/pt/en/emaildell/**	
国番号：**351**	テクニカルサポート	707200149
	カスタマーケア	800 300 413
	セールス	800 300 410
		または 800 300 411
		または 800 300 412
		または 21 422 07 10
	Fax	21 424 01 12
プエルトリコ	一般サポート	1-800-805-7545
セントキットおよびネヴィス	一般サポート	フリーコール：1-877-441-4731
セントルシア	一般サポート	1-800-882-1521
セントヴィンセントおよびグレナディン諸島	一般サポート	フリーコール：1-877-270-4609
シンガポール（シンガポール）	テクニカルサポート	フリーコール：800 6011 051
国際電話アクセスコード：**005**	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
国番号：**65**	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：800 6011 054
	法人セールス	フリーコール：800 6011 053
南アフリカ（ヨハネスブルグ）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**09/091**	E メール：dell_za_support@dell.com	
国番号：**27**	テクニカルサポート	011 709 7710
市外局番：**11**	カスタマーケア	011 709 7707
	セールス	011 709 7700
	Fax	011 706 0495
	代表	011 709 7700
東南アジア / 太平洋沿岸諸国	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、セールス（マレーシア、ペナン）	604 633 4810

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
スペイン（マドリード）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：**support.euro.dell.com/es/es/emaildell/**	
国番号：**34**	**Home / Small Business 向け**	
市外局番：**91**	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 540
	セールス	902 118 541
	代表	902 118 541
	Fax	902 118 539
	法人向け	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 546
	代表	91 722 92 00
	Fax	91 722 95 83
スウェーデン（アップランズヴェスビー）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	E メール：swe_support@dell.com	
国番号：**46**	Latitude および Inspiron 専用 E メール：Swe-nbk_kats@dell.com	
市外局番：**8**	OptiPlex 専用 E メール：Swe_kats@dell.com	
	サーバー専用 E メール：Nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	08 590 05 199
	Latitude / OptiPlex / Dell Precision カスタマーケア	08 590 05 642
	Home / Small Business カスタマーケア	08 587 70 527
	EPP（社員購入プログラム）サポート	20 140 14 44
	Fax テクニカルサポート	08 590 05 594
	セールス	08 590 05 185

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名または** **サービス内容** **ウェブサイトおよび E メールアドレス**	**市内番号** **市外局番および** **フリーコール番号**
スイス（ジュネーブ） 国際電話アクセスコード：**00** 国番号：**41** 市外局番：**22**	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
	E メール：swisstech@dell.com	
	E メール（フランス語の HSB および法人カスタマー用）：**support.euro.dell.com/ch/fr/emaildell/**	
	テクニカルサポート（Home / Small Business 向け）	0844 811 411
	テクニカルサポート（法人向け）	0844 822 844
	カスタマーケア（Home / Small Business 向け）	0848 802 202
	カスタマーケア（法人向け）	0848 821 721
	Fax	022 799 01 90
	代表	022 799 01 01
台湾 国際電話アクセスコード：**002** 国番号：**886**	テクニカルサポート（ノートブックおよびデスクトップコンピュータ）	フリーコール：00801 86 1011
	テクニカルサポート（サーバー）	フリーコール：0080 601 256
	Dimension / Inspiron セールス	フリーコール：0080 651 228 または 0800 33 556
	法人セールス	フリーコール：0080 651 227 または 0800 33 555
タイ 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**66**	テクニカルサポート	フリーコール：0880 060 07
	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
	セールス	フリーコール：0880 060 09
トリニダード・トバコ	一般サポート	1-800-805-8035
タークス＆カイコス諸島	一般サポート	フリーコール：1-866-540-3355

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
U.K.（ブラックネル）	ウェブサイト：**support.euro.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**00**	カスタマーケアウェブサイト： **support.euro.dell.com/uk/en/ECare/Form/Home.asp**	
国番号：**44**	E メール：dell_direct_support@dell.com	
市外局番：**1344**	テクニカルサポート （法人 / 優先アカウント / PAD［従業員 1000 名以上］）	0870 908 0500
	テクニカルサポート （ダイレクト / PAD および一般）	0870 908 0800
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344 373 186
	Home / Small Business カスタマーケア	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	01344 373 185
	優先アカウントカスタマーケア（従業員数 500-5000 人）	0870 906 0010
	中央政府カスタマーケア	01344 373 193
	地方政府および教育機関カスタマーケア	01344 373 199
	保健機関カスタマーケア	01344 373 194
	Home / Small Business セールス	0870 907 4000
	法人 / 公共機関セクターセールス	01344 860 456
ウルグアイ	一般サポート	フリーコール：000-413-598-2521

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
U.S.A.（テキサス州オースチン）	自動オーダーステータスサービス	フリーコール：1-800-433-9014
国際電話アクセスコード：**011**	AutoTech（ノートブック / デスクトップ）	フリーコール：1-800-247-9362
国番号：**1**	**一般消費者**（Home / Home Office）	
	テクニカルサポート	フリーコール：1-800-624-9896
	カスタマーサービス	フリーコール：1-800-624-9897
	DellNet™ サービスおよびサポート	フリーコール：1-877-Dellnet（1-877-335-5638）
	EPP（社員購入プログラム）カスタマー	フリーコール：1-800-695-8133
	ファイナンスサービスウェブサイト：**www.dellfinancialservices.com**	
	ファイナンスサービス（リース / ローン）	フリーコール：1-877-577-3355
	ファイナンスサービス（［DPA］デル優先アカウント）	フリーコール：1-800-283-2210
	ビジネス	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール：1-800-822-8965
	EPP（社員購入プログラム）カスタマー	フリーコール：1-800-695-8133
	プロジェクタテクニカルサポート	フリーコール：1-877-459-7298
	パブリック（政府機関、教育機関、および医療機関）	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール：1-800-456-3355
	EPP（社員購入プログラム）カスタマー	フリーコール：1-800-234-1490
	デルセールス	フリーコール：1-800-289-3355 またはフリーコール：1-800-879-3355
	デルアウトレットストア（Dell 返品製品）	フリーコール：1-888-798-7561
	ソフトウェアおよび周辺機器セールス	フリーコール：1-800-671-3355

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
	交換部品販売	フリーコール：1-800-357-3355
	期間延長サービスおよび保証セールス	フリーコール：1-800-247-4618
	Fax	フリーコール：1-800-727-8320
	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーコール：1-877-DELLTTY （1-877-335-5889）
U.S. バージン諸島	一般サポート	1-877-673-3355
ベネズエラ	一般サポート	8001-3605

認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータを含むデジタル装置などの意図的ではない放射装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン / オフにすることによって判定できますので、次の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

認可機関の情報については、お使いのコンピュータに付属している『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、112 ページを参照してください。

デル製品の保証および返品について

コンピュータに付属している冊子を参照してください。

索引

な

は

ま

ら